

令和7年度実践記録集 第50集

# えぼし



蔵王自然の家の春



チャレンジ in 蔵王



山ガール教室



親子で遊ぼう in 蔵王



満喫! 蔵王の冬



宮城県蔵王自然の家

# 目次

はじめに.....	1
令和7年度のあゆみ.....	2
<b>I 主催事業.....</b>	<b>3</b>
<b>1 児童・生徒対象事業.....</b>	<b>3</b>
(1) チャレンジ in 蔵王.....	3
(2) ジュニア・リーダー上級研修会.....	5
(3) みんなで通学合宿にチャレンジ！.....	6
<b>2 家族対象事業.....</b>	<b>7</b>
(1) 満喫！蔵王の春.....	7
(2) 満喫！蔵王の夏.....	8
(3) 満喫！蔵王の秋 ※令和7年度中止.....	9
(4) 満喫！蔵王の冬.....	10
(5) 親子で遊ぼう in 蔵王.....	11
(6) 蔵王でみんなとお泊まり会.....	12
<b>3 大学生・社会人・教職員対象事業.....</b>	<b>13</b>
(1) ZAO施設ボランティア養成講座.....	13
(2) アウトドア体験塾.....	14
(3) 野外活動指導者研修会.....	15
(4) 蔵王に登ろう！山ガール教室.....	16
(5) めざせ！蔵王マイスター.....	17
(6) リフレッシュ in 蔵王.....	18
(7) みやぎ県民大学.....	19
<b>4 一般.....</b>	<b>20</b>
スプリングフェスティバル.....	20
蔵王自然の家フェスティバル ※令和7年度中止	
<b>II 共催事業</b>	
セカンドスクール ※令和7年度中止	
<b>III 受け入れ事業（活動例）.....</b>	<b>21</b>
<b>1 夏型活動例.....</b>	<b>21</b>
(1) 小学校A.....	21
(2) 小学校B.....	21
(3) 中学校.....	22
(4) スポーツ少年団・子ども会.....	22
<b>2 冬型活動例.....</b>	<b>23</b>
(1) 小学校A.....	23
(2) 小学校B.....	23
(3) スポーツ少年団・子ども会.....	24

(4) 家族.....	24
3 キャンプ.....	25
(1) デイキャンプ.....	25
(2) キャンプ（宿泊）.....	25
IV 活動を振り返って.....	26
1 支援活動の在り方を探る.....	26
2 登山支援ボランティア・.....	27
3 各種統計から.....	29
(1) 野外炊飯・食事関係.....	29
(2) 病気とけがの様子（R8年2月1日現在）.....	30
(3) 活動の実施状況.....	31
(4) 利用統計から.....	32
おわりに.....	33

## はじめに

宮城県蔵王自然の家

所長 平林 健

### 〇つらら

今冬の最長記録=約 40 cm

所長室軒先に見える“つらら”の長さです。10年前には軒先から地面まで達していたことが信じられません。強烈な寒波になれ



ばなるほど、朝日連峰が雪をもぎ取り、蔵王連峰には降雪をもたらさない状況を目の当たりにしてきました。偏西風の気まぐれな蛇行も JPCZ も本所に恵みの雪は与えてくれなかったようです。そんな記録的な少雪だった本所の冬もミラノ・コルティナオリンピックとともに終わりを告げようとしています。

### 〇今年度の取組概要

令和 7 年度は開所 55 年目となり、これまで同様、総務・支援班職員、ビル管理職員、食堂職員が三位一体となって所の運営にあたって参りました。

今年度の利用者は延べ 1 万 9 千人となりそうです。おかげさまで、どの団体からも高い評価を頂いており、職員が一枚岩となって団体に寄り添った支援ができた賜物だと自負しております。

新しい取組として始めた「訪問型利用事前指導（夏型・冬型）」は利用団体（主に学校）に所員が赴いて野外活動の説明（冬型：スキーの着脱）や質疑応答を行います。子供たちはもとより、引率者の不安も取り除き、活動への意欲を高めるものとして多くの学校から訪問要請をいただくことができました。

伝統ある主催事業「チャレンジ in 蔵王」では、つくしの会合唱団の協力を頂いて、参加した子供たちの歌声を録音し、所歌の音源を数十年ぶりに更新しました。伝統を重んじるとともに時代のニーズも取り入れながら、自然体験施設としての可能性を追究しているところです。

施設面では、エアコンが全館に設置され、猛暑での活動による利用者の疲れを大きく軽減させ

てくれました。さらに、便座のウォッシュレット化、そして待望の温泉ポンプの修理も次年度中に完了する予定で「自然の家ふれあいの湯」の復活に、受け入れる我々のモチベーションも高まっております。

一方で、強風による倒木被害（ナラ枯れ）、飲料水の塩素注入装置故障とそれに伴うボイラーの破損、そしてとどめの飲料水（井戸水）ポンプの故障が立て続けに起こり、利用団体や主催事業へ大きな影響を及ぼしました。さらに追い打ちをかけたのが熊目撃情報に係る一連の対応でした。本所周辺での状況は例年と変わらないという“肌感”だけでは許されない状況です。客観的な事実把握と具体の対応策について本庁や猟友会、ことりはうすをはじめとした関係機関との情報共有を現在進行形で行っているところです。

55 年間に渡る周辺の自然環境の変化、施設の老朽化の影響が今年度一気に表面化してきたともいえるようです。安全・安心な施設の運営を可能にするのは、日々の点検とリスク察知です。現状にあぐらをかくことなく、事前の一策を打っていかねばなりません。

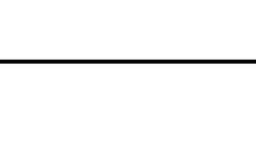
### 〇自然体験型社会教育施設の未来へ向けて

「自然は人間に謙虚さと、人と人が協力しなければならぬことを学ばせてくれます。先生があれこれ論ずよりも、自然体験活動そのものが教え成長させてくれるのです。」（えぼし第 49 集 P27 佐藤芳樹氏の記述より抜粋）

私たち職員の根底にある思いはまさにここです。利用者が蔵王に来るのは当たり前ではありません。これからは学校行事の精選、働き方改革等の社会情勢の変化、噴火警戒、感染症、熊出没等人間にはコントロールできない要因が自然体験施設の運営を取り巻いていくことが想像に難しくありません。だからこそ私たちは自然体験の意義を適切に伝え、実際に体験・体感をしていただく努力をし続けていきたいと思えます。

末筆になりますが、今年度も登山・スキー等をはじめとする支援ボランティアの皆さん、そして ZAVO の皆さんの協力なしでは本所の特色ある活動は実現できませんでした。紙面をお借りして心よりお礼申し上げます。

## 令和7年度のあゆみ

月	日	内 容	
4	1	着任式	
	9	第1回消防避難訓練、AED講習会	
	16	利用事前研修会1-①(6月1日~6月30日利用団体対象)	
	17	利用事前研修会1-②(7月1日~7月19日利用団体対象)	
	26	登山支援ボランティア研修会	
	27	スプリングフェスティバル	
5	9	実地踏査会1	
	17~18	ZAO施設ボランティア養成講座1	
	20	アウトドア体験塾	
	24~25	満喫!蔵王の春	
	31	利用事前研修会2(7月20日~8月25日・夏休み利用団体対象)	
6	3	利用事前研修会3(8月26日~12月の利用団体対象)	
	8	めざせ!蔵王マイスター1	
	11	実地踏査会2	
	21	親子で遊ぼう in 蔵王	
	29	蔵王に登ろう!山ガール教室1	
	7	5~6	
6	チャレンジin蔵王事前説明会		
15	第1回外部評価委員会		
19	めざせ!蔵王マイスター2		
26~27	MIYAGIよくばりキャンプ		
8	3~8	チャレンジin蔵王	
19~20	野外活動指導者研修会		
27	学ぶ土台作り推進計画自然の家体験事業第1回企画委員会		
30~31	満喫!蔵王の夏		
9	21	めざせ!蔵王マイスター3	
27	蔵王に登ろう!山ガール教室2		
10	4~5		満喫!蔵王の秋 ※中止
19	蔵王自然の家フェスティバル ※中止		
25~26	蔵王でみんなとお泊まり会		
11	1		利用事前研修会4(1月~3月利用団体対象)
8	登山支援ボランティア研修会・反省会 ※中止		
19	学ぶ土台作り推進計画自然の家体験事業第2回企画委員会		
26~28	みんなで通学合宿にチャレンジ!		
12	13~14		リフレッシュin蔵王
25~27	ジュニア・リーダー上級研修会		
1	9	スキー指導者研修会	
	17~18	ZAO施設ボランティア養成講座2	
	21	地震避難誘導訓練	
	30~2/1	満喫!蔵王の冬	
2	14	蔵王に登ろう!山ガール教室3	
	15	みやぎ県民大学	
	19	第2回外部評価委員会	
3	12	利用事前研修会5(令和8年度4・5月利用団体対象) ※個別開催	
	13	蔵王自然の家ボランティアの会(ZAVO)総会 離任式	

# I 主催事業

## 1 児童・生徒対象事業

### (1) チャレンジin蔵王

#### ① 趣旨

蔵王の大自然の中で、長期間の宿泊生活や野外活動を通して、たくましく、主体的・自立的な生活をさせ、生きる力を育む。

#### ② 期日

令和7年8月3日(日)～8日(金)

#### ③ 参加者数

- ・ 募集人数 35人程度
- ・ 申込人数 110人
- ・ 参加人数 35人

#### ④ 活動内容と日程

1日目 8月3日(日)	
時刻	活動内容
10:30	開講式
11:00	オリエンテーション1
12:00	昼食(弁当)
13:00	スコアオリエンテーリング
15:00	オリエンテーション2
17:00	夕べのつどい
17:30	夕食(食堂)
18:30	創作活動 マイスプーン作り
20:00	入浴・振り返り・交流
22:00	消灯・就寝
2日目 8月4日(月)	
6:00	起床
7:00	朝のつどい
7:30	朝食
9:00	班活動 スタッツ準備
10:00	「蔵王の魅力を知ろう」
12:00	昼食(食堂)
13:00	「自然との共生について考えよう」
15:30	野外炊飯「カレーライス」
19:00	班活動 スタッツ準備
20:00	入浴・振り返り・交流
22:00	消灯・就寝
3日目 8月5日(火)	
6:00	起床
6:30	朝のつどい
8:00	朝食(食堂)
9:00	沢登り 三階滝～白龍の滝コース 昼食(食堂弁当)
14:30	洗濯タイム
16:00	班活動 スタッツ準備
17:00	夕べのつどい

17:30	夕食
18:30	キャンプファイヤー
20:00	入浴・振り返り・交流
22:00	消灯・就寝
4日目 8月6日(水)	
6:00	起床
7:00	防災クッキング ホットサンド
8:00	朝のつどい
9:00	シーツ交換・会場準備
10:30	つくしの会コンサート
11:15	合同練習・所歌レコーディング
12:00	昼食
13:00	ニジマスつかみ
15:30	講義「蔵王登山に向けて」
17:00	夕べのつどい
17:30	夕食
18:30	入浴・振り返り・翌日準備
20:30	消灯・就寝
5日目 8月7日(木)	
強風のため、予定の登山コース変更	
6:00	起床
7:30	朝食
9:00	出発式
9:15	バスに乗車、出発
10:15	大黒天、出発式
大黒天～刈田岳～熊野岳(往復)	
15:30	自然の家到着・到着式
17:00	夕べのつどい
17:30	夕食「バイキングパーティー」
18:30	入浴・振り返り・交流
21:00	消灯・就寝
6日目 8月8日(金)	
6:00	起床
7:00	朝のつどい
7:30	朝食
9:00	班活動「振り返り」
9:30	キャラコづくり、感想発表
11:00	閉講式
11:30	解散

#### ⑤ 講師等

- ・ 蔵王自然の家登山支援ボランティア  
我妻 定男 氏 佐藤 芳樹 氏  
追木 丘 氏 渡邊 典男 氏  
佐々木知明 氏 深堀 孝 氏  
深堀 好子 氏
- ・ 蔵王ジオパーク推進協議会  
北川 桐香 氏 村上 智哉 氏
- ・ つくしの会児童合唱団  
細瀨 誠一 氏 菅家のぞみ 氏  
細瀨こずえ 氏

## ⑥ 活動アシスタント

保坂 大 富澤梨々花 四竈 心  
澁谷 明里 伊藤 花 坂本まひる  
吉田さくら

## ⑦ 参加経費

15,200 円

## ⑧ 参加者アンケート (回答数 33)

### ○ 参加しての満足度について

#### 【いろいろな体験活動に挑戦すること】

- ・ 満足している。 . . . . . 30
- ・ やや満足している。 . . . . . 3

#### 【自然の美しさや気持ちよさを味わうこと】

- ・ 満足している。 . . . . . 30
- ・ やや満足している。 . . . . . 3

#### 【自分をたくましくすること】

- ・ 満足している。 . . . . . 16
- ・ やや満足している。 . . . . . 15
- ・ やや満足していない。 . . . . . 2

#### 【協力して活動すること】

- ・ 満足している。 . . . . . 23
- ・ やや満足している。 . . . . . 8
- ・ やや満足していない。 . . . . . 1
- ・ 満足していない。 . . . . . 1

#### 【思い出を作ること】

- ・ 満足している。 . . . . . 27
- ・ やや満足している。 . . . . . 4
- ・ 満足していない。 . . . . . 2

#### 【友達を作ること】

- ・ 満足している。 . . . . . 26
- ・ やや満足している。 . . . . . 5
- ・ やや満足していない。 . . . . . 1
- ・ 満足していない。 . . . . . 1

#### 【この6日間で学んだことは何ですか】

- ・ 協力することと、自分から話しかけることです。中学2年生として、みんなと仲良くできました。
- ・ 仲間たちと声を掛け合いながら、楽しく、マジメにたくさんさんのことにチャレンジしたことです。仲間と協力し続けることの大切さを学びました。
- ・ たくさん友達ことができました。楽しかったことと、面白かったこと、頑張ったこと、一生忘れません。来年も絶対に参加します。お願いします。

## ⑨ 保護者アンケート (回答数 27)

### ○ お子さんを参加させて良かったか

- ・ とても良かった . . . . . 26
- ・ どちらかといえば良かった . . . . . 1

### ○ 活動後のお子さんの変化を感じるか

#### 【たくましさ】

- ・ 感じる . . . . . 16
- ・ やや感じる . . . . . 11

#### 【素直になった】

- ・ 感じる . . . . . 9
- ・ やや感じる . . . . . 16
- ・ やや感じない . . . . . 1
- ・ 感じない . . . . . 1

#### 【自分のことを進んでするようになった】

- ・ 感じる . . . . . 7
- ・ やや感じる . . . . . 15
- ・ やや感じない . . . . . 5

#### 【成長した・変容したと思う点】

- ・ 自分と同学年以外の子供たちも今回携わってくださった大人の方々との関わりを持つことで自己と他者の理解が深まったのかなと感じました。
- ・ 日常生活を送っているとどうしても型にはまろうとしてしまうのか、鎧を着ているというか背伸びをしているというか、そんな様子になりがちな娘ですが、この活動を機に良い意味で肩の力が抜けて、これまで以上に笑顔が増えたように感じます。雄大な自然に触れることができた感動はもちろんのこと、素晴らしい仲間たちとの出会いも大きかったようです。

## ⑩ 担当者から

- ・ 参加者、保護者とも事業のよさを実感し、高い満足度を得た。保護者の感想では、発達段階における事業の効果や事前と事後の変容を感じていることが分かった。
- ・ 登山予定日の数日前から悪天候が予想され、講師と協議し登山コースを変更した。春の早い段階からボランティアの方々や情報を共有し、点検・整備にも協力いただいたことで、安心・安全な登山につながり、悪天候や急なコース変更にも対応することができた。

(担当：村上智)



キャラコづくり。一人一人が思いをしたためました。

## (2) ジュニア・リーダー上級研修会

### ① 趣旨

子ども会活動の支援や地域活動を行う年少リーダーに、発展的な活動についての理解を深めさせ、自主的な活動意欲を高めさせる。

### ② 期日

令和7年12月25日(木)～27日(土)

### ③ 参加者数

- ・ 募集人数 40人
- ・ 応募人数 26人
- ・ 参加人数 24人

	男	女	計
大河原教育事務所管内	0	8	8
仙台教育事務所管内	3	13	16
計	3	21	24

### ④ 主な活動内容と日程

時刻	1日目 12月25日(木)
9:30	開講式
9:45	受講にあたって
10:15	レクリエーション/アイスブレイク
11:15	ジュニア・リーダーに望むこと
13:00	事業企画①
15:00	OBから後輩へ
16:00	ジュニア・リーダーの現状と課題
18:30	事業企画②
19:30	事業企画③
時刻	2日目 12月26日(金)
8:30	救急対応講習
10:00	ジュニア・リーダーの役割
13:00	冬山活動のKYT
15:00	災害時の支援について
18:15	創作活動
19:45	事業企画④
時刻	3日目 12月27日(土)
9:00	事業企画⑤
10:00	事業企画発表会
13:00	活動のまとめ
13:30	閉講式

### ⑤ 講師

新田新一郎氏(プランニング開)  
 吉田さくら氏(大河原町ジュニア・リーダーOG)  
 佐藤 浩氏(仙台教育事務所)  
 佐藤 雅俊氏(大河原教育事務所)  
 蔵王自然の家職員

### ⑥ 参加経費

4,500円

### ⑦ アンケートから

- ・ この3日間の研修で、自分から物事に意見や疑問を持って発言する力や、臨機応変に対応していく力など、自分に足りないと思っていた力を伸ばすことができた。
- ・ 今回の研修を生かして、今の地域課題やジュニア・リーダーの課題を再認識し、それを解決するための企画を立案、実行していきたい。
- ・ ジュニア・リーダーは「夢と感動の配達人」で、誰に配達するか、配達はできているか、自分の中で考えて今後の活動に生かしていきたい。

### ⑧ 担当者から

- ・ 1日目は「事業企画の立て方」について佐藤雅俊氏に基礎的な部分を講義していただき、それをもとに事業企画のプログラムを展開した。併せてジュニア・リーダー活動の現状と課題を話し合い、課題解決を事業企画のねらいに取り入れた。
- ・ 2日目は蔵王ならではの体験活動であるスノーシュートレッキングや創作活動、防災プログラムを実施した。「子どもの理解とジュニア・リーダーの役割」では、講師の新田氏のジュニア・リーダーに対する熱い思いに触れ、受講者の意欲が高まった。
- ・ 3日目は事業企画発表会を行った。初日の佐藤氏の助言を踏まえて、ねらいを明確にし、講師の先生方のこれまでの取組を生かして企画するなど、どのグループも工夫の見られる発表となった。発表会后、事業企画を振り返り、講評などを受けて改めて企画した事業についての改善を図った。

(担当：高橋)



参加者全員での記念撮影

### (3) みんなで通学合宿にチャレンジ!

#### ① 趣旨

参加者が家庭を離れ、学校に通学しながら共同生活を送り、様々な生活体験活動を通して協力し合い、よりよく生活する能力を高めるとともに、基本的な生活習慣の定着や規範意識の向上を図る。

#### ② 期日

令和7年11月26日(水)～11月28日(金)

#### ③ 参加者数

- ・ 参加対象 蔵王町立小学校5年生
- ・ 募集人数 30人程度
- ・ 申込人数 24人
- ・ 参加人数 23人

#### ④ 活動内容と日程

時刻	1日目 11月26日(水)
16:00	学校からバスで自然の家へ移動
16:30	であいのつどい オリエンテーション、入室・荷物整理
17:30	夕食
18:00	宿題タイム
19:00	交流タイム・自由時間
20:00	入浴
21:30	就寝準備
22:00	完全消灯
時刻	2日目 11月27日(木)
6:00	起床・清掃・洗面
6:35	あさのつどい
6:40	朝食(食堂定食)
7:20	自然の家からバスで学校へ登校 ※学校で生活
16:00	学校からバスで自然の家へ移動
16:30	写真撮影・宿題タイム
17:15	ゆうべのつどい
17:30	夕食(食堂定食)
18:30	創作活動 (マイスプーン・フォークづくり)
20:00	交流タイム
21:30	入浴
22:00	就寝準備 完全消灯
時刻	3日目 11月28日(金)
6:00	起床・清掃・洗面・荷物整理
6:35	あさのつどい
6:40	朝食(食堂定食)
7:10	わかれのつどい
7:20	蔵王自然の家からバスで小学校へ登校※ 事業終了

#### ⑤ 参加経費

2,860円

#### ⑥ アンケートから

- ・ 通学合宿で他校の人と話せたり、友達ができたりして、うれしかったしお互いのことも知れてよかった。家族から離れて生活していく中でもいろいろなことが知れて「来てよかった。」と思いました。
- ・ みんなで協力していろんなことができたことが楽しかったです。フォークとスプーンづくりがとてもよかったです。
- ・ マイスプーンを作ったり、友達と遊んだり、他の学校の人とも話せて、来てよかったなと思いました。また、こういう機会があったら友達と来たいです。
- ・ いつもより楽しく、ごはんもお風呂も寝るときも友達と一緒にだから安心して通学合宿ができました。楽しい時間も悲しい時間も困った時間もあつという間で、家に帰った時、少しさみしかったけど、きちょうな時間をありがとうございました。

#### 【保護者より】

- ・ 再来年、蔵王中学校で一緒になる子との交流ができ、とても貴重な体験をさせていただきました。2泊3日の中で、団体生活や規則正しい生活を学び、各活動で楽しい時間を過ごし、初めて自然の家からバス通学と、普段なかなか体験できない事を企画していただきありがとうございました。

#### ⑦ 担当者から

- ・ 蔵王町内全5校からの参加による学校間交流を促進することができたため、目的に沿った事業となった。
- ・ 同校・他校を問わず、過ごした時間を共有し、親近感を得たことで、参加者の高い満足度に繋がったことがうかがえる。
- ・ 蔵王町中学校統合へ向けた事業の一環である。次年度も引き続き、蔵王町教育委員会並びに小学校5校の皆様のご協力をいただきながら本事業を継続していきたい。(担当:相原)



蔵王自然の家 11月27日  
参加者全員で記念撮影

## 2 家族対象事業

### (1) 満喫！蔵王の春

#### ① 趣旨

蔵王の春の自然に親しむ活動をととして、親子のふれあいを深める。

#### ② 期日

令和7年5月24日（土）～25日（日）

#### ③ 参加者数

- ・ 募集人数 25 家族 90 人程度
- ・ 申込人数 58 家族 170 人
- ・ 参加人数 24 家族 74 人

#### ④ 活動内容と日程

時刻	1日目 5月24日（土）
10:00	であいのつどい
10:45	【命にありがとう】ニジマスつかみ 【森にありがとう】野鳥の森探検
14:45	おやつタイム 自由遊び
16:30	夕べのつどい
17:30	夕食（食堂定食）
18:30	【森にありがとう】森のアトリエ （森の置物、ステンシルアート）
19:45	入浴タイム ※創作活動と入浴を入れ替えて実施 休憩
22:00	消灯・就寝
時刻	2日目 5月25日（日）
6:00	起床
7:00	朝のつどい
7:30	朝食
8:15	荷物移動、活動準備
9:30	【食べ物にありがとう、仲間ありがとう、森にありがとう】 「野外炊飯・カレーライス」
14:00	わかれのつどい
14:30	解散

#### ⑤ 講師（蔵王自然の家登山支援ボランティア）

佐々木知明 氏 小室 美雪 氏  
川内 禎子 氏 片岡 光司 氏

#### ⑥ 活動アシスタント（敬称略）

四竈 心 四竈 快 吉田さくら

#### ⑦ 参加経費

2,700 円

#### ⑧ アンケートから

- ・ とても楽しい2日間をありがとうございました。日常の便利さに慣れてしまっており、言葉は悪いですが、テレビのない部屋、共同のお風呂、トイレ、火起こしをしないと料理が作れない不便さを学ばせながら、その不便さを楽しむことができました。災害時などに、こういった経験を活かし生きる知恵を身につけてもらえると思っています。
- ・ 森のアトリエにて、限られた時間の中で、よく考え、工夫し、本人なりに楽しんでいただけました。私自身も楽しめました。ニジマスつかみでも、少し怖い様子でしたが、最終的に学び、考え、食した時のおいしさを知り、またやりたいとのことでした。あいにくの雨も結果で考えると良かったと思います。ありがとうございました。
- ・ 朝のつどいで司会を頑張る我が子の姿に喜びと成長を感じました。「ありがとう」が詰まった2日間、最高の経験になりました！

#### ⑨ 担当者から

- ・ 開催中に見つけた「ありがとう」を記した葉を貼って、ありがとうの木を作成した。ちょっとした隙間時間にありがとうのメッセージを記入する姿が見られた。参加者にとっても、メッセージを読んだ所員やアシスタントにとっても心温まる成果物となった。
- ・ 「ありがとう」をテーマにプログラムを組み、所員だけでなく、アシスタント、登山ボランティアも共有して企画・運営に当たったことで、自然への感謝だけでなく、日常の何気ないことに対しても感謝を表現する場面が見られた。（担当：村上智）



参加者全員で記念撮影

## (2) 満喫！蔵王の夏

### ① 趣旨

蔵王の夏の自然に親しむ活動を通して、親子のふれあいを深める。

### ② 期日

令和7年8月30日（土）～31日（日）

### ③ 参加者数

- ・ 募集人数 25 家族 90 人
- ・ 申込人数 146 家族 426 人
- ・ 参加人数 27 家族 90 人

### ④ 活動内容と日程

時刻	1日目 8月30日（土）
9:00	受付
9:30	であいのつどい
10:00	ニジマスつかみ/ランタン作り
12:00	昼食
13:00	ニジマスつかみ/ランタン作り
16:00	タベのつどい
17:30	夕食
18:30	キャンプファイヤー
19:30	入浴、デザート
22:00	消灯・就寝
時刻	2日目 8月31日（日）
6:00	起床
7:30	朝食
8:45	部屋点検
9:30	沢遊び・沢登り
12:00	昼食
13:00	わかれのつどい、解散

### ⑤ 講師（蔵王自然の家登山支援ボランティア）

我妻 定男 氏（沢登りコース）

川内 禎子 氏（沢登りコース）

### ⑥ 活動アシスタント（敬称略）

保坂 大 四竈 快 吉田さくら

宍戸咲和花

### ⑦ 参加経費

3,000 円

### ⑧ アンケートから

- ・ 普段の生活では経験できない貴重な体験

を、子供にさせてあげられて満足です。

- ・ 自然に触れることができ、とても楽しく参加することができました。
- ・ 子供とかけがえのない時間を過ごすことができた。
- ・ 蔵王の自然を子供たちと共に感じることができ、夏のよい思い出となりました。あんなに美しい夜空を見たのは初めてです。
- ・ 一つひとつ充実した活動なのに、余裕もあってゆっくり過ごすことができました。
- ・ この2日間の体験が、親子共々素晴らしい体験となりました。
- ・ 楽しすぎて家族全員あつという間だったと話していました。
- ・ ランタンづくりは初めてでしたが、夜にあんなに素敵な雰囲気になるとは思わず感動しました。
- ・ 準備や片付けなど、職員の方や学生さんたちが手際よくやってくれました。

### ⑨ 担当者から

- ・ 「普段できない体験ができた」「親子で貴重な時間を過ごせた」「蔵王の自然に感動した」など、参加者にとって心に残る体験となったことが記述からうかがえる。
- ・ 「違う季節も参加したい」「他の沢登りコースも体験したい」等の再参加希望の記述も多く、継続的な事業展開への期待が高まっている。
- ・ ニジマスつかみでは、命の大切さを学ぶ教育的価値が高く、子供たちが魚をさばく体験を通じて「食」と「命」のつながりを実感できる活動となった。
- ・ キャンプファイヤーは、ダンスやゲーム、家族での花火など、参加者同士の交流を促進する場として機能した。
- ・ 「沢登り・水遊び」では、初めての沢登り体験に感動する声が多く、自然とのふれあいが家族の絆を深める機会になった。  
(担当 森)



参加者全員で記念撮影

### (3) 満喫！蔵王の秋

※ 給水ポンプの汲み上げ不良による断水のため、中止

#### ① 趣旨

蔵王の秋の自然に親しむ活動を通して、親子のふれあいを深める。

#### ② 期日

令和7年10月5日(土)～6日(日)

#### ③ 参加者数(予定)

- ・ 募集人数 25家族 80人程度
- ・ 申込人数 86家族 242人
- ・ 参加人数 28家族 80人

#### ④ 活動内容と日程(予定)

時刻	1日目 10月5日(土)
9:00	受付開始
9:30	であいのつどい
10:20	野外ゲームに挑戦
12:00	昼食(持参弁当)
13:30	ニジマスつかみに挑戦
15:50	野外で晩ご飯をつくろう
19:00	夕べのつどい
19:30	蔵王のキャンドル・ナイト
20:00	入浴
22:00	消灯・就寝
時刻	第2日目 10月6日(日)
6:00	起床・洗面・荷物整理
6:50	朝のつどい
7:10	朝食(食堂定食)
9:00	秋の蔵王を体感しよう！ ※グループごとに活動
	A 蔵王のお釜を見に行こう
	B 後烏帽子岳を目指そう
13:30頃	C 野鳥の森探検 登山終了・グループごとに解散

#### ⑤ 講師(予定)

佐々木知明氏 石川 純則氏  
片岡 光司氏 我妻 定男氏  
(蔵王自然の家登山支援ボランティア)

#### ⑥ 活動アシスタント(予定) ※敬称略

大友彩弥香 保坂 大  
佐藤陽菜汰 澁谷 明里

#### ⑦ 参加経費(予定)

3,300円

#### ⑧ 担当者から

- ・ 今年度の満喫！蔵王の秋は、「家族でチャレンジ！蔵王で秋探し」をテーマに、野外炊飯や野外ゲーム、選択制の登山を企画し、家族に蔵王の秋を感じていただくプログラムを企画した。
- ・ ニジマスつかみでつかんだニジマスを、野外炊飯のおかずの一品に加えることで、活動を組み合わせ、関連性を持たせながら取り組めるよう企画した。
- ・ 登山コースについては、比較的負荷の少ない取り組みやすいコースに加え、「家族でチャレンジ」のテーマにふさわしい負荷のかかるコース(後烏帽子登山)を設定した。広報の際には、負荷のかかるコースであること、家族でチャレンジして達成感を得ることをねらいにしたことを明記した。

(担当 高橋)



主催：宮城県蔵王自然の家  
期日：10月4日(土)～5日(日)1泊2日  
対象：宮城県民の小・中学生とその保護者  
(未就学児は参加できません)  
80人 25家族程度



募集チラシ

#### (4) 満喫！蔵王の冬

##### ① 趣旨

蔵王の冬の自然に親しむ活動を通して、親子のふれあいを深める。

##### ② 期日

令和8年1月31日(土)～2月1日(日)

##### ③ 参加者数

- ・ 募集人数 30 家族 90 人
- ・ 申込人数 68 家族 194 人
- ・ 参加人数 24 家族 71 人  
(3 家族 7 人キャンセル)

##### ④ 活動内容と日程

時刻	1日目 1月31日(土)
9:30	受付開始
10:00	であいのつどい
10:30	スノーシューオリエンテーション
11:00	スノーシュー・歩くスキー体験
12:10	昼食(持参弁当)
13:00	雪の中でとことん遊ぼう ・雪像作り・そり遊び ・スノーシュー・餅つき
17:00	夕べのつどい(代表者の参加)
17:30	夕食(食堂定食)
18:30	スノーキャンドルナイト
19:30	入浴
22:00	消灯・就寝
時刻	2日目 2月1日(日)
6:30	起床・洗面・荷物整理
7:10	朝のつどい(代表者の参加)
7:30	朝食(食堂定食)
9:15	スノートレッキングスノーシュー
11:30	活動終了・スキー等片付け
12:00	昼食(食堂定食)
13:00	わかれのつどい
13:30	解散

##### ⑤ 講師

佐々木知明 氏 小室 美雪 氏  
深堀 好子 氏 赤坂 克之 氏  
片岡 光司 氏 我妻 定男 氏  
(蔵王自然の家スキー講師)

##### ⑥ 活動アシスタント

大友彩弥香 渋谷 明里  
坂本まひる 大友 蒼生

##### ⑦ 参加経費

3,000 円

##### ⑧ アンケートから

- ・ 雪が少ない中、色々工夫していただきありがとうございました。お陰様で楽しい思い出ができました。また来たいです。
- ・ 雪遊び、そり遊び楽しかった。途中のお餅休憩もよかったです。美味しくておかわり食べたかったです。食事也大満足でした。
- ・ 雪や自然とふれあう活動をして、とても楽しかったです。
- ・ スノートレッキングで様々な動物の足跡、植物のことを教えてくださりいい体験ができました。
- ・ 皆様の対応がとても丁寧で良かったです。設備も研修施設としては大満足です。
- ・ 歩くスキーは時間が短いと思っていたが、疲れな程度でちょうど良かったです。
- ・ ボブスレー連盟の方から、そり滑りの具体的なアドバイスが聞けて良かったです。
- ・ 子どもに雪遊びの楽しさをたくさん知ってもらえた時間でした。家族だけではできない経験ができました。
- ・ スノートレッキングを終えた時の達成感が何とも言えない良い時間でした。
- ・ 親子共々が充実した時間を過ごせました。まさに満喫！蔵王の冬でした。

##### ⑨ 担当者から

- ・ 今年は、餅つき体験コーナーを設けて、多くの親子に参加していただき、満足した様子が見られた。参加家族は、親子で活動を楽しみながら、蔵王の冬を満喫している様子がアンケート記述からうかがえる。
- ・ 冬の遊び(雪遊び・そり滑り・スノーシュー・スノーキャンドル等)を、親子で一気に体験できる内容で、雪遊びや自然体験から家族の絆が深まる機会になった。

(担当：大瀧)



参加者全員で記念撮影

**(5) 親子で遊ぼう in 蔵王**  
**【学ぶ土台づくり推進企画事業】**

**① 趣旨**

未就学児童とその保護者を対象とし、蔵王の自然の中で体験活動に親しみながら親子の絆を深める。

**② 期日**

令和7年6月21日(土)

**③ 参加者数**

- ・ 募集人数 25 家族 80 人
- ・ 申込人数 44 家族 167 人
- ・ 参加人数 21 家族 80 人

**④ 活動内容と日程**

時刻	6月21日(土)	
9:00	受付	
9:30	であいのつどい	
10:00	【A グループ】 ・ 創作活動 ・ 広場で自由遊び	【B グループ】 ・ ニジマスつかみ
11:45	昼食 (弁当持参) ジェラート配布	
13:00	【A グループ】 ・ ニジマスつかみ	【B グループ】 ・ 創作活動 ・ 広場で自由遊び
14:45	わかれのつどい・解散	

**⑤ 活動アシスタント (敬称略)**

坂本まひる 澁谷 明里  
 伊藤 花 大友 蒼生

**⑥ 参加経費**

550 円

**⑦ アンケートから**

- ・ 価格も安く、盛りだくさんな内容に驚きっぱなしでした。なかなか休日の遊び場探しに苦労しているので、とてもありがたい催しでした。また機会があれば参加させていただきたいです。
- ・ 自然の中にひたって、ニジマスつかみは良い経験になりました。小学生以降のイベントにも参加させたいです。
- ・ 職員の方々の対応が良く、子供たちに自然を体験させることができ、良かったと思います。また参加したいと思いました。
- ・ 子供たちが関心をもって取り組む姿を見て、これからもこのようなイベントに参加したい

と思いました。

- ・ スタッフの方々の優しい声掛けや子供を見守っていただける安心感がすごくありました。親子だけでは体感できない自然の遊び方をたくさん学べました。また今後もこの活動を続けていただけたら嬉しいです。ありがとうございました。
- ・ 初めて参加させて頂きましたが、親子でも有意義な時間を過ごすことができました。
- ・ 自然の中で魚をとって食べる、自然物を使って作る、どちらも自然にふれながらとても楽しむことができました。プログラムの時間に余裕があり、焦ることなく活動できたこともよかったです。このような企画がまたあれば、ぜひ参加したいと思います。ありがとうございました。

**⑧ 担当者から**

- ・ ニジマスつかみでは、「命」をいただくという意味を参加者の方に理解していただき、楽しく活動していただくことができました。
- ・ 創作活動では、森の置き物、葉っぱでフロッタージュ、ミニ色紙のお絵描きといった複数の活動から選んで行うことができ、充実した活動を行ってもらうことができました。  
 (担当：永田)



参加者全員で集合写真



家族でニジマスつかみ

(6) 蔵王でみんなとお泊まり会  
【学ぶ土台づくり推進事業】

① 趣旨

様々な自然体験活動を通して、幼児の主体性や社会性を育み、自然体験活動の効果や円滑な親子の関わり方について学ぶ。

② 期日

令和7年10月25日(土)～10月26日(日)

③ 参加者数

- ・ 募集人数 20 家族 50 人
- ・ 申込人数 34 家族 114 人
- ・ 参加人数 13 家族 44 人

④ 活動内容と日程

時刻	1日目 10月25日(土)
9:00	受付
9:20	であいのつどい
10:00	ニジマスつかみ
11:30	お昼ごはん
12:30	創作活動(前半)
13:00	【子供】「外でおもいっきりあそぼう」 ・ 自由遊び、アシスタントと遊ぼう 【親】「親の学びタイム」 ・ 講演・演習「親子で考えよう我が家のルール」
15:00	ブースで体験活動
16:00	創作活動(後半)
17:30	夕食
18:30	牛乳パック点灯式
19:00	入浴
21:00	消灯・就寝
時刻	2日目 10月26日(日)
6:30	起床
7:15	朝のつどい
7:30	朝食
9:00	お部屋の点検
9:30	集合写真 撮影
9:45	みんなと野外でごはんをつくろう! ・ 芋煮づくり ・ おにぎりづくり
13:45	わかれのつどい

⑤ 組織・体制等

【企画委員】

- |          |         |
|----------|---------|
| 伊藤 誠 氏   | 大宮 長子 氏 |
| 佐々木とし子 氏 | 金峯 照美 氏 |
| 吉田 展世 氏  | 小原 美和 氏 |
| 安部 信次 氏  | 佐藤 文則 氏 |
| 佐藤 雅俊 氏  | 島貫 裕美 氏 |

【講師】

波多野ゆか 氏 (宮城県家庭教育支援チーム協議委員)

【活動アシスタント】 (敬称略)

佐藤 有紗 四竈 快  
佐藤 匠 吉田さくら

⑥ 参加経費

2,750 円

⑦ アンケートから

- ・ 他の家族の子供との接し方を見ることができ、色々考えることができた。自分でやる、やってみる、チャレンジさせる心が大切だと思った。子供たちも初めて会った友達とも仲良く過ごせて楽しそうだった。
- ・ 普段は子供とじっくり向き合うことができていなかったなので、この2日間とても有意義でした。どの活動も楽しかったです。
- ・ お泊まりを渋っていた娘だったが、楽しく過ごすことができた。同年代の子に影響され、食事も進み、活動も積極的にできてよかった。

⑧ 担当者から

- ・ 募集開始前に事前の企画委員会を実施したことで、委員の方々から意見をいただき、目的に沿った内容にすることができた。
- ・ 事後の企画委員会も実施から1か月以内に開催でき、次年度に向けた引き継ぎ事項を共有することができた。
- ・ 当日はインフルエンザ罹患による欠席者が5名いたが、参加人数としては適切で、所員も支援しやすく、全体としてスムーズに活動を行うことができた。
- ・ 1日目の午後から天候不良で、予定していた活動をすべて実施でき、実施後のアンケートでもほとんどの項目で「よかった」「ややよかった」という肯定的な回答が得られた。  
(担当：永田)



参加者全員で集合写真

### 3 大学生・社会人・教職員対象事業

#### (1) ZAO施設ボランティア養成講座

##### ① 趣旨

蔵王自然の家の利用者のニーズに対応するため、実践的な研修を通して、野外教育施設を支える人材を育成する。

##### ② 期日

第1回令和7年5月17日(土)～18日(日)

第2回令和8年1月17日(土)～18日(日)

##### ③ 参加者数

	第1回	第2回
募集人数	20人	20人
申込人数	10人	11人
参加人数	8人	10人

##### ④ 活動内容と日程

	活動内容
第1回	「ボランティアの心構え」 「野鳥の森ハイキング」 「マイスプーン・フォーク作り」 「ニジマスつかみ」 「野外炊飯」
第2回	「もちつき体験」 「歩くスキー」 「雪遊びとスノーキャンドル」 「親子ゲームの企画」 「スノーシュートレッキング」

##### ⑤ 講師

蔵王自然の家所員

##### ⑥ 参加経費

第1回 2,600円 第2回 2,400円

##### ⑦ アンケートから

###### 【第1回】

- ・ 一つ一つの活動がとても楽しく、新鮮な活動ばかりで貴重な体験ができた。
- ・ ボランティアの必要性や周囲とのコミュニケーションをとることの大切さを学ぶことができた。
- ・ 将来、自分が小学校教諭を目指すために、自然に触れながら子どもと関わることができるボランティア活動に励んでいきたいと思った。
- ・ この養成講座に参加しなければ、人生で

ほぼ体験しないような活動だったので、新しいスタートを踏み出すことができてよかった。

- ・ 参加者をサポートすることは大変だと思うので、どんな対応をしたらよいか、これから少しずつ学んでいきたい。

###### 【第2回】

- ・ 冬の蔵王は初めてでしたが、雪を生かした研修がとても楽しかった。
- ・ 歩くスキーでは、体験したことがなく不安だったが、滑るうちに楽しくなってきた、止まるときに止まれなかったが、それも面白く感じた。
- ・ アシスタントとして活動する時は、子どもたちが安心安全に取り組めるサポートに励んでいきたい。自分たちが研修でわくわくして楽しんだことを参加者にも味わってもらえるよう、アシスタントとして精進していきたい。
- ・ 雪が少なかった時などの、企画の代案を考えておくことの大切さや大変さを感じることができた。

##### ⑧ 担当者から

- ・ 一つ一つの活動において、利用者を支援する際のポイントやねらいを明確にしたことで、参加者が活動に取り組みやすくなることを心掛けて企画した。
- ・ 養成講座を受講したことで、自信をもってアシスタントとして活動する姿が見られた。初めてボランティアに登録していただいた方々にはぜひ受講してもらえよう、広報活動も工夫していきたい。

(担当：高橋)



トレッキング(わさび沢)



最後に記念撮影

## (2) アウトドア体験塾

### ① 趣旨

蔵王自然の家の野外活動に関するプログラムを学習、体験し、野外活動の基礎的知識を身に付ける。

### ② 期日

令和7年5月20日(火)

### ③ 参加者数

- ・ 募集人数 30人
- ・ 申込人数 8人
- ・ 参加人数 8人

### ④ 活動内容と日程

時刻	5月20日(火)
9:00	受付
9:15	開講式
9:30	①野外炊飯 【カレーライス】
13:00	②アクティビティ 【ニジマスつかみ】
14:30	③アウトドア体験塾情報交換コーナー ○同時時間帯に大河原教育事務所管内青少年担当者会議も開催
16:00	閉会、解散

### ⑤ 講師

活動の①～③は所員が担当、大河原教育事務所管内青少年担当者会議は、大河原教育事務所が運営

### ⑥ 参加経費

1,000円

### ⑦ アンケートから

- ・ 野外炊飯は、留意点を押さえてお話いただいて、とても参考になりました。
- ・ 子供たちに段取りの仕方を学ばせるのに最適だと感じました。
- ・ ニジマスつかみは、命をいただくという行為の大切さ・尊さなどを再認識できる良い体験でした。
- ・ この時期(5月末)の水はまだ冷たく、サンダルでは大変だったが、夏の日に行うのにはちょうど良いと感じました。
- ・ 命の大切さを教えるのが主目的であり、単なるレジャーではないことを実施した際には強く伝えたいと感じました。
- ・ アウトドアは、目的を明確にした上で活動することが大切だと思います。
- ・ 来年以降、他のカリキュラムがあれば参加してみたいです。

### ⑧ 担当者から

- ・ 参加者からは、野外炊飯時の基本的な知識やマナーなどを習得することができ、好評であった。
- ・ 野外炊飯とニジマスつかみの2本立てで行ったが、本所の取り組みについても理解をしていただくことができた。
- ・ 毎年参加人数が少ないことから、利用事前研修会後にアウトドア体験塾を設定するなどの参加者を増やす工夫が必要である。そのために、学校関係者の参加もあとが良い。
- ・ 本事業の趣旨である「野外活動に関するプログラムを学習、体験し、野外活動の基礎的知識を身に付ける」に関して、アンケート結果からおおむね達成と捉えた。

(担当：大瀧)



参加者全員で記念撮影



ニジマスつかみ

### (3) 野外活動指導者研修会

【みやぎ環境税活用事業】

【初任者研修 (3年目)】

・中堅教諭等資質向上研修対象事業】

#### ① 趣旨

自然体験活動を通して野外活動の楽しさを味わい、その基礎的な技能及び知識を習得し、野外活動を指導・支援する上での資質向上を図る。

#### ② 期日

令和7年8月19日(火)～20日(水)

#### ③ 参加者数

- ・ 募集人数 30人
- ・ 申込人数 28人
- ・ 参加人数 25人

#### ④ 活動内容と日程

時刻	1日目 8月19日(火)
9:30	開講式
10:00	研修1 実技 「命を学ぶ!ニジマスつかみ体験」
12:30	研修2 講義 「野外活動の基本と安全について」
14:30	研修3 実技 「野外炊飯の基本について」
18:30	自主研修1・2 「実技及び情報交換」 「夜間における野外活動について (キャンプファイヤー)」
時刻	2日目 8月20日(水)
8:45	研修4 実技 「子どもに味わわせたい達成感を体感しよう」 ～チャレンジ!ザ・蔵王登山～
14:00	閉講式

#### ⑤ 講師

佐々木知明 氏 小室 美雪氏

渡邊 典男 氏

(蔵王自然の家登山支援ボランティア)

#### ⑥ 参加経費

2,400円

#### ⑦ アンケートから

- ・ 野外活動の意義や安全面への配慮など多くのことを学びました。達成感や登山の良さを、身をもって体験できてよかったです。
- ・ チームで協力してカレーを作ったり、後片

付けをしたり、山に登ったりすることで、集団の中の所属感や、協力して成し遂げようとする心を養えることがわかった。いつか引率して連れて行く場合は、今回いただいたご講話や技術を活かしたい。

- ・ 他校の先生方や校種が異なる先生方との交流をたくさん行うことができ、よい情報交換の場になった。

また、子供たちに行わせる活動を自身で行ってみることで、安全性や、充実度等をあらためて実感することができたよい経験となった。



野外炊飯

#### ⑧ 担当者から

- ・ 初任者研修(3年目)、中堅教諭等資質向上研修対象事業、また、みやぎ環境税活用事業として本事業を実施した。
- ・ ニジマスつかみや野外炊飯、キャンプファイヤー、登山等学校で行う野外活動の内容を実施することができた。
- ・ 登山について、悪天候の影響もあり、予定していたコースより短くなった。コースについて、目的に合わせた内容になるように検討していきたい。

(担当:永田)



登山研修にて、第3班集合写真



ニジマスつかみの説明を聞く参加者

## (4) 蔵王に登ろう！山ガール教室

【みやぎ環境税活用事業】

### ① 趣旨

蔵王の登山を通して、自然の美しさや環境に触れ、登山の楽しさを味わう。

### ② 期日

第1回 令和7年6月29日(日)

第2回 令和7年9月27日(土)

第3回 令和8年2月14日(土)

### ③ 参加者数

	第1回	第2回	第3回
募集人数	30人	30人	30人
申込人数	27人	58人	30人
参加人数	24人	29人	25人

### ④ 活動内容と日程

<第1回> 講義と千年杉までの軽登山

時刻	6月29日(日)
9:00	集合…蔵王自然の家 受付・開講式
9:30	講義 渡邊氏、小室氏
10:30	千年杉を目指して軽登山
14:30	蔵王自然の家到着、閉講式
15:00	解散…蔵王自然の家

<第2回> 登山(刈田駐車場～芝草平～屏風岳 往復)

時刻	9月27日(土)
8:00	集合…蔵王町営無料駐車場 受付・開講式
8:30	講義(バス移動中)
9:20	屏風岳(経験者)、芝草平(初心者) を目指して登山
15:30	蔵王町営無料駐車場到着、閉講式
15:50	解散…蔵王町営無料駐車場到着

<第3回> 冬山登山(千年杉コース往復)

時刻	2月14日
8:45	集合…蔵王自然の家 受付・開講式
9:00	バス移動
9:40	千年杉を目指して、冬山トレッキング 開始
13:30	千年杉コース入口到着
14:10	自然の家にて反省会
14:30	解散

### ⑤ 講師

渡邊 典男 氏(第1・2回)

佐々木 知明 氏(第1～3回)

小室 美雪 氏(第1・3回)

深堀 好子 氏(第2・3回)

深堀 孝 氏(第3回)

川内 禎子 氏(第3回)

(自然の家登山支援ボランティア・スキー講師)

### ⑥ 参加経費

第1回 500円

第2回 400円

第3回 500円



千年杉にて(第3回)

### ⑦ アンケートから

- ・ 山への心構え、大切なこと、歴史などたくさん学びが多く、親切に教えていただき、ありがとうございました。(第1回)
- ・ 芝草平の雄大さを、初めて自分の眼で見て感動しました。
- ・ スタート時間もとてもちょうど良い時間で、遠くからでも余裕をもち参加できるのでうれしいです。(第2回)
- ・ 初めてのスノーシューでしたが、コースも難易度もちょうどよく、景色もきれいでした!(第3回)

### ⑧ 担当者から

- ・ 主に初心者を対象にして事業を実施した。装備や登り方の注意点に加え、女性に特化した登山の注意点なども情報共有した。実技の軽登山は、少人数のグループを編成し、歩き方やペース配分など丁寧に指導していただいた。(第1回)
- ・ 初心者対象のコースと経験者対象のコースを分けて実施した。経験者の中には、「屏風岳に挑戦したい」「近場の低山は登っていたけどレベルアップしたい」など活動の幅を広げることが目標に参加された方も多くみられた。(第2回)
- ・ 雪不足で、当日のコースの変更などを行ったが、雪のあるところでスノーシューの体験をすることができた。「もっと歩きたい」という方もおり、自然の家以外の活動の場も紹介できるようにしていきたい。(第3回)  
(担当:①森、②村上智、③永田)



集合写真(第1回)



芝草平にて(第2回)

## (5) めざせ！蔵王マイスター

### 【みやぎ環境税活用事業】

#### ① 趣旨

蔵王の歴史や文化、自然に関する基礎知識を習得し、現地を歩きながら、環境の美しさに触れ、「蔵王の魅力」に気付く。

#### ② 期日

<第1回> 令和7年6月8日(日)

<第2回> 令和7年7月19日(土)

<第3回> 令和7年9月21日(日)

#### ③ 参加者数

<第1回> 募集20人 申込16人 参加16人

<第2回> 募集20人 申込18人 参加18人

<第3回> 募集20人 申込21人 参加15人

#### ④ 活動内容と日程

<第1回> 講義とエリア散策

時刻	6月8日(日)
9:45	開講式
10:00	講義「蔵王の歴史や自然について」
12:30	演習「遠刈田エリア周辺散策」
15:30	閉講式

<第2回> 講義と沢登り

時刻	7月19日(土)
9:45	開講式
10:00	講義「蔵王の自然との共生・沢の魅力について」
12:30	演習「沢登り」
15:00	閉講式

<第3回> ジオ関連見学

時刻	9月21日(日)
8:50	開講式
9:00	見学「北原尾・南蔵王野営場・峩々温泉下り岩脈グリーンタフ・賽の磧入口遊歩道～展望台・御釜」 バス内講義「澄川柱状節理群・蔵王の概略・御釜・コマクサについて」
15:15	閉講式
	※北原尾～蔵王熊野岳まで辿るコースを予定したが、天候不良により、コースを北原尾、南蔵王野営場、賽の磧入口遊歩道散策、御釜見学に変更

#### ⑤ 講師

<第1回>

北川 桐香 氏(蔵王ジオパーク推進協議会事務局 専門員)

佐々木知明 氏 浦川 明彦 氏

田村 信幸 氏(蔵王自然の家登山支援ボランティア)

<第2回>

佐藤 芳樹 氏(蔵王自然の家登山支援ボランティア)

<第3回>

佐々木知明 氏 赤坂 克之 氏

(蔵王自然の家登山支援ボランティア)

佐藤 博泰 氏(蔵王ジオ倶楽部)

#### ⑥ 参加経費

<第1回> 500円 <第2回> 400円

<第3回> 200円

#### ⑦ アンケートから

<第1回>

・ 蔵王や刈田の歴史や地表や自然について学ぶことができ、今後の登山がより興味を持って考えたり学んだりしながら深いものになるようにと思えました。講師の方々に大変感謝します。今までで一番充実した登山となりました。スタッフの皆様素晴らしい企画をありがとうございました。

<第2回>

・ 初めての沢登り体験ができ、とても自然を感じることができました。次は更なるコースにチャレンジしてみたいと思います。

<第3回>

・ 地質学的な側面からのご説明を受けて、蔵王を見る目が変わることができたと思います。1日ありがとうございました。

#### ⑧ 担当者から

・ 今年の「めざせ！蔵王マイスター」は1～3回の全てにおいて、テーマ「蔵王の魅力再発見」を掲げて事業を行った。参加者からのアンケート結果から、テーマである蔵王の魅力再発見を達成できたと捉えた。

・ 今年度も、蔵王の魅力を当所と蔵王町ジオパーク推進室が連携できたことは有効であった。(担当：大瀧)



参加者全員で記念撮影

**(6) リフレッシュ in 蔵王**  
【みやぎ環境税活用事業】

**① 趣旨**

蔵王での自然体験活動を通して、五感を刺激したりリラックスしたりすることで、日常のストレスを解消するなど、心身のリフレッシュを図る。

**② 期日**

令和7年12月13日(土)～14日(日)

**③ 参加者数**

- ・ 募集人数 30人程度
- ・ 申込人数 28人
- ・ 参加人数 19人

**④ 活動内容と日程**

時刻	1日目 12月13日(土)
9:00	受付
9:30	開講式
10:00	蔵王オルレの紹介
10:30	蔵王オルレ(徒歩とバス移動)
12:00	昼食
13:10	蔵王ジオパークセンター見学
14:00	自由散策 遠刈田温泉街
16:00	入所のつどい
16:30	薪割り体験(希望者)
17:30	夕食
18:30	冬の星空観賞
19:30	入浴、リラックスタイム
22:00	消灯、就寝
時刻	2日目 12月14日(日)
6:00	起床
7:00	朝のつどい
7:30	朝食
9:00	ことりはうす見学
10:30	ヨーガ体験
11:30	わかれのつどい・解散

**⑤ 講師**

池田 尚人 氏(岩沼市立岩沼中学校 校長)  
佐藤美弥子 氏(日本ヨーガ療法協会 常任理事)  
ことりハウス職員  
蔵王町農林観光課職員

**⑥ 参加経費**

3,000円

**⑦ アンケートから**

- ・ 星空観賞と映像、野鳥観察、冬景色を見て皆さんの話をたくさん聞いてとてもよいリフレッシュになりました。
- ・ 蔵王の魅力再発見の旅でした。何を見ても聞いても「へー」という感嘆の声の連続でした。このような機会を提供していただきありがとうございました。
- ・ 星や鳥など気にはなっていないでも自分で思うきっかけがなかったですが、色々教えていただいてとても興味がわきました。
- ・ 見るもの聞くもの初めてのことでしたが、分かりやすく説明いただきとてもよい体験ができました。
- ・ 食事もお風呂もとてもよかった。本当にゆっくりリラックスでき、リフレッシュできました。

**⑧ 担当者から**

- ・ 全体的な感想では「よかった」が19名と全員が肯定的評価を示し、活動プログラム全般に高い満足度が得られた。特に星空観賞会は全員が「よかった」と回答しており、印象深い体験となった。
- ・ 「蔵王オルレ」「ことりはうす見学」「ヨーガ体験」など多様な活動が好評であり、専門的な説明や体験を通じて新しい知識や気付きを得られたとの声が多く、自然体験・専門的な学び・心身のリフレッシュを同時に実現できた事業となった。
- ・ 職員・講師の対応に参加者全員から「よかった」と回答があり、丁寧な対応やホスピタリティが大きな成果につながり、蔵王の魅力を再発見する機会につながった。

(担当：森)



蔵王オルレ



ことりハウス

(7) みやぎ県民大学  
「白銀の蔵王 冬の森探検」

① 趣旨

講義やスノートレッキングを通して、蔵王の自然の美しさや環境について考える。

② 期日

令和8年2月15日(日)

③ 参加者数

- ・ 募集人数 17人
- ・ 応募人数 15人
- ・ 参加人数 11人

④ 活動日程

時刻	2月15日(日)
9:15	受付
9:30	開講式
9:45	講義「第6次産業について」 ホットサンド作り
10:30	スノートレッキング準備
10:45	スノートレッキング開始 (カッコウ～ウグイス～ヤマガラ)
12:10	昼食～雪上でランチ～
13:30	スノーシュートレッキング再開 (ヤマガラ～オオルリ～メジロ～コ ゲラ～ウグイス～カッコウ)
14:30	スノーシュートレッキング終了 スノーシュー片付け
14:45	閉講式 解散

⑤ 講師

我妻 定男 氏(自然の家登山支援ボランティア)

⑥ 参加経費

500円

⑦ アンケートから

- ・ 講師が我妻先生だったので受講しました。師匠のうんちくをたくさん聞くことができ、有意義でした。また、師匠の講座があれば参加したいです。
- ・ 最近、暖かい日が続いていたので、スノーシューできるのかなと心配に思いながらの参加でしたが、わかんじきでしっかりとスノートレッキングを楽しめました！何回もコースを歩いてくださり、ありがとうございました。
- ・ 初めての受講ですが、充実した内容にとっても満足です。もっと早くにこの県民大学の存

在を知っていたらと…30年近くのブランクの山歩きに、最初は申込みに迷っていましたが、結果これぞ生きがいを感じる貴重な体験でした。

- ・ 今回はいろんな道を案内してくださって、ありがとうございました。普段、歩くことができない山道以外を登ることが新鮮でとても楽しかったです。ティータイムのチョコとコーヒーが身体に沁みました。4Lのポットを背負ってくださったことに驚きました。私たちのことを考えてコースやティータイムを準備してくれて嬉しかったです。本当に貴重な体験をありがとうございました。
- ・ 雪が少なく開催できるのか心配していましたが、事前の下見などされて、かんじきも体験で来て良かったです。ホットサンドやサプライズのコーヒータイムなど楽しめました(師匠が背負っていたポットにびっくり)。お世話になり、ありがとうございました。

⑧ 担当者から

- ・ 蔵王自然の家登山支援ボランティアの我妻定男氏を講師に迎え、野鳥の森を歩きながら、蔵王の自然の中での生活や動植物についての説明、そして、自然の家ができるまでの歴史などを説明していただいた。
- ・ ホットサンド作りでは、それぞれが持ち寄った具材を交換しながら作ることで交流を深めることができました。また、昼食に提供したホットミルクと関連させて第6次産業化にも触れることで、参加者の産業や地域の活性化への意識の高まりにもつながった。

(担当：村上)



エゾシカの毛皮にも興味津々！



本物を見て、触れて、五感を使った学びとなりました。

## 4 一般

### スプリングフェスティバル

#### ① 趣旨

県民に自然体験活動を通して楽しく学習する機会を提供し、自然の家の施設や活動について理解を深めてもらい、今後の利用促進の一助とする。

#### ② 期日

令和7年4月27日(日)

#### ③ 参加者数

- ・ 募集人数 自由参加  
(ニジマスつかみなど、一部事前申込制)
- ・ 参加人数 400人

#### ④ 活動内容と日程

時刻	4月27日(日)
9:45	受付開始
10:00	各コーナー活動、販売開始
15:00	各コーナー活動、販売終了
16:00	片付け作業終了

##### 《創作コーナー》

- ・ ことりはうす…ことりマグネットづくり
- ・ 蔵王自然の家…ステンシルアート

##### 《フード・産直販売コーナー》

- ・ キッチンカー協会(鶏吉)…焼き鳥等
- ・ キッチンカー協会(鉄パン屋)…ハンバーガー等
- ・ 来栖珈琲店…コーヒー等

##### 《体験コーナー(外部団体)》

- ・ OUTDOORS MAN…薪わり体験など
- ・ NPO法人仙台スラックライン…スラックライン体験
- ・ キャンプ協会…空き缶ランタン作り

##### 《体験コーナー(蔵王自然の家)》

- ・ スコアオリエンテーリング大会
- ・ ニジマスつかみ…午前、午後の2回開催
- ・ レーザーシューティングゲーム
- ・ モルック体験

##### 《イベントコーナー》

- ・ ぎおうさまをさがせ
- ・ 清水バンド演奏

#### ⑤ 活動アシスタント(敬称略)

大友彩弥香 林 大夢  
佐々木叶羽 佐藤 匠

#### ⑥ 参加経費(一部を掲載)

- ・ ニジマスつかみ 1匹270円
- ・ フードコーナー 焼き鳥600円 等
- ・ 空き缶ランタン 200円
- ・ スラックライン 200円

- ・ 薪割り、焼きマシュマロ 200円

#### ⑦ アンケートから

- ・ ニジマスつかみは、始めて魚をさばく体験をし、内臓にドキドキしたようですが、命をいただくことも学べて、良い経験になったと思います。
- ・ スタッフの方たちの対応も良かったです。他のイベントにも機会があれば参加したいです。ありがとうございました。
- ・ ニジマスつかみに参加させてもらいました。命の大切さ、食べ物のありがたさを、4歳の子どもだけでなく、親の私も改めて学ばせてもらいました。今日頂いたニジマスに感謝して、日々の食事にも感謝できる家庭にしたいと改心しました。
- ・ 案内して下さった方は子どもに優しくしてくれ、説明して下さった方は、わかりやすくニジマスへの愛情が感じられる内容でした。みなさん親切で、とても楽しく学べました。ありがとうございました♪
- ・ スコアオリエンテーリング初めて挑戦しました。小6の姉が活躍し地図ルートを見て諦めない姿が素晴らしいかったです。
- ・ このようなイベントを行っているのを初めて知りました。子どもたちに貴重な体験をさせてあげられることができ、とても有意義な1日でした。

#### ⑧ 担当者から

- ・ GW前半で、天気も良く、予定通りの活動を行うことができました。
- ・ アンケートを回答していただいた51名の方全員から「楽しかった」、「やや楽しかった」と回答があり、満足していただくことができました。
- ・ 体験活動、飲食コーナーなどを昨年よりも増やしたことで、例年より会場の雰囲気盛り上げることができました。
- ・ 初めての試みとしてキッチンカー協会に依頼し、キッチンカー2台に来ていただき、来場者からも好評であった。

(担当:永田)



清水バンドを見る参加者の方々

### Ⅲ 受け入れ事業（活動例）

#### 1 夏型活動例

##### (1) 小学校A

- ① 活動タイプ 1泊2日型（宿舎泊）
  - ② 時期 6月上旬
  - ③ 参加者 5学年
  - ④ 宿泊学習のめあて（例）
    - 大自然の中で、宿泊体験を通じた集団生活をしながら、
      - ・ 誰とでも仲良くし助け合う。
      - ・ 素早く行動し進んで仕事をする。
      - ・ 決まりや時刻を守りグループで行動する。
      - ・ 自ら考え規則正しく生活する。
      - ・ 自然に親しみ自然を大切にする。
- 以上の事を自分自身の体験を通して学び、健全な心身を育てる。

##### ⑤ 日程

<1日目>

時刻	活動内容
7:30	学校集合・出発
9:00	自然の家到着
9:30	であいのつどい
10:00	◇狐が森トレッキング開始 自然の家→熊岩→ハートランド
12:00	ハートランド着（昼食、休憩）
14:00	ハートランド発 復路
15:30	自然の家到着
17:00	タベのつどい
17:30	夕食
19:00	◇キャンプファイヤー
20:15	入浴
21:30	就寝

<2日目>

時刻	活動内容
6:00	起床
7:00	朝のつどい
7:30	朝食
8:30	荷物移動
9:30	野外炊飯説明
10:00	◇野外炊飯開始
12:30	後片付け
13:30	野外炊飯終了
14:15	わかれのつどい
14:30	自然の家出発
16:00	学校到着

##### (2) 小学校B

- ① 活動タイプ 2泊3日型（宿舎泊）
- ② 時期 9月上旬
- ③ 参加者 5学年
- ④ 宿泊学習のめあて（例）
  - ・ 自然の美しさ、雄大さに触れる。
  - ・ 思いやりを持ってお互いに協力し合う。
  - ・ 自分の役割を自覚し進んで行動する。
  - ・ 決まりを守って生活する。
  - ・ 自分の良さに気付き、仲間の良いところを見つける。

##### ⑤ 日程

<1日目>

時刻	活動内容
7:30	学校集合・出発
9:00	登山口到着、オリエンテーション
9:30	◇登山開始 刈田無料駐車場～刈田岳山頂～刈田レストハウス（休憩）～馬の背～熊野岳山頂（昼食）～馬の背～刈田無料駐車場
14:00	登山終了
14:30	登山口出発
15:30	自然の家到着、であいのつどい
17:00	タベのつどい
17:30	夕食
19:00	◇ナイトハイク
20:30	反省会・入浴
21:45	就寝

<2日目>

時刻	活動内容
6:00	起床
7:00	朝のつどい
7:30	朝食
9:00	◇スコアオリエンテーリング
12:00	昼食（弁当）
12:45	グループ活動 ◇自然観察◇探検散歩 ◇スタンプ練習◇自由遊び
14:30	◇野外炊飯開始
17:30	後片付け
19:00	◇キャンプファイヤー
20:30	反省会・入浴
21:10	班長会議
21:45	就寝

<3日目>

時刻	活動内容
6:00	起床
7:00	朝のつどい
7:30	朝食(食堂定食)
9:00	荷物移動
9:30	◇ニジマスつかみ
12:00	昼食(食堂定食)
13:00	わかれのつどい
14:30	学校到着

(3) 中学校

- ① 活動タイプ 2泊3日型(宿舎泊)
- ② 時期 5月中旬
- ③ 参加者 1学年
- ④ 宿泊学習のめあて(例)
  - ・ 集団の一員としての役割と集団生活のルールを身に付ける。
  - ・ 活動を通して協力することの大切さを体験する。
  - ・ 自然に親しみ、学校では体験できない楽しさを知る。
  - ・ 集団での活動を通して生徒間そして教師と生徒の親睦を深める。

⑤ 日程

<1日目>

時刻	活動内容
9:30	自然の家到着(であいのつどい)
10:00	◇ハイキング ・自然の家→ハートランド(昼食)→自然の家
15:30	自然の家到着
16:00	スタンプ練習
17:00	(夕べのつどい)
17:30	夕食
19:30	入浴
22:00	就寝

<2日目>

時刻	活動内容
6:00	起床
7:00	(朝のつどい)
7:30	朝食
9:00	◇スコアオリエンテーリング
12:00	途中班ごとに昼食
13:00	スコアオリエンテーリング終了
14:00	ニジマスつかみ～自然観察
17:00	(夕べのつどい)
17:30	夕食

18:30	◇キャンプファイヤー
21:00	入浴
22:00	就寝

<3日目>

時刻	活動内容
6:00	起床
7:00	(朝のつどい)
8:45	荷物移動
9:00	◇野外炊飯
12:00	後片付け
13:00	野外炊飯終了
14:00	(わかれのつどい)

(4) スポーツ少年団・子ども会

- ① 活動タイプ 1泊2日型(宿舎泊)
- ② 時期 7月下旬
- ③ 参加者 児童生徒
- ④ 団体の種類及び構成
  - ・ 少年野球の少年団
  - ・ 小学生の中高学年男子とその保護者
- ⑤ 宿泊学習のめあて(例)
  - ・ みんなで協力し助け合いながら楽しく活動する。
  - ・ 自然に親しみ自然を大切にする。

⑥ 日程

<1日目>

時刻	活動内容
8:00	集合・出発
10:00	自然の家到着
10:30	(であいのつどい)
11:00	自然散策(昼食)
14:30	◇野外炊飯
16:30	夕食
19:00	◇ナイトハイク
20:30	入浴
21:30	就寝

<2日目>

時刻	活動内容
6:00	起床
7:00	(朝のつどい)
7:30	朝食
8:30	荷物移動
9:30	◇沢登り(小阿寺沢コース)
12:00	昼食(弁当)
13:30	(わかれのつどい)
	解散後・ことりはうす見学

## 2 冬型活動例

### (1) 小学校A

- ① 活動タイプ 1泊2日型
- ② 時期 2月下旬
- ③ 参加者 全校13人 引率7人
- ④ 日程

<1日目>

時刻	活動内容
10:30	(であいのつどい)
11:00	そり滑り
12:20	スキーオリエンテーション
13:00	スキー活動(自然の家ゲレンデ)
15:30	スキー活動終了
16:00	活動責任者・講師担当者打合せ
17:00	(タベのつどい)
17:30	夕食
18:00	レクリエーション
20:00	入浴
21:00	消灯準備
22:00	就寝

<2日目>

時刻	活動内容
6:00	起床
7:00	(朝のつどい)
7:30	朝食
8:45	荷物移動・部屋点検
9:00	バス乗車
9:15	スキー活動(えぼしスキー場)
12:00	昼食(高原レストハウス)
14:00	スキー活動終了、バス乗車 ・スキー片付け
15:00	自然の家退所



スキー活動(自然の家ゲレンデ)

### (2) 小学校B

- ① 活動タイプ 日帰り型
- ② 時期 1月下旬
- ③ 参加者 5年46人 引率13人
- ④ 日程

時刻	活動内容
9:30	入所・であいのつどい
10:00	雪山散策、アニマルトレッキング
12:00	昼食
12:45	そり滑り・雪遊び
13:45	活動終了・片付け
14:00	(わかれのつどい)、退所



そり滑り(そり滑り場)



スノーシュー体験



雪遊び(雪遊び場)

### (3) スポーツ少年団・子ども会

- ① 活動タイプ 1泊2日型
- ② 時期 1月下旬
- ③ 参加者 17人
- ④ 日程

<1日目>

時刻	活 動 内 容
10:30	(であいのつどい)
11:00	スキーウェアレンタル
12:20	スキーオリエンテーション
13:00	スキー活動(自然の家ゲレンデ)
15:30	スキー活動終了
17:00	(タベのつどい)
17:30	夕食
19:00	星空観察
20:00	入浴
22:00	就寝

<2日目>

時刻	活 動 内 容
6:00	起床
7:00	(朝のつどい)
7:30	朝食
8:15	荷物移動
9:00	バス乗車
9:30	スキー活動(えぼしスキー場)
12:30	スキー活動終了、昼食
13:30	(レストランえぼし)
	バス乗車
14:20	スキー、スキーウェア等返却 自然の家退所



冬の蔵王自然の家①

### (4) 家族

- ① 活動タイプ 1泊2日型
- ② 時期 1月下旬・2月中旬
- ③ 参加者 4人
- ④ 日程

<1日目>

時刻	活 動 内 容
9:00	スノーボード(えぼしスキー場)
16:00	(であいのつどい)
17:00	ベッドメイク
17:30	夕食
19:30	入浴
22:00	就寝

<2日目>

時刻	活 動 内 容
6:00	起床
7:30	朝食
8:30	荷物移動
9:15	自然の家退所
9:30	スノーボード(えぼしスキー場)



冬の蔵王自然の家②



えぼしスキー場

### 3 キャンプ

#### (1) デイキャンプ

##### <家族>

- ① 活動タイプ 日帰り (デイキャンプ)
- ② 時期 8月中旬
- ③ 参加者 4人
- ④ 日程

時刻	活動内容
10:00	入所
11:00	けやきの下でのんびりタイム
12:20	昼食 (持参したもの)
14:00	野外観察・自由散策
16:00	自然の家 退所

#### (2) キャンプ (宿泊)

##### <家族>

- ① 活動タイプ 1泊2日型 (キャンプ)
- ② 時期 5月下旬
- ③ 参加者 3人
- ④ 日程

##### <1日目>

時刻	活動内容
14:00	入所
14:15	テント設営 (テントサイト)
16:00	夕食準備
17:00	夕食
18:00	夕食の片付け
18:30	テントの前で焚火
19:30	シャワー
20:00	フリータイム
21:00	就寝

##### <2日目>

時刻	活動内容
7:00	起床
7:30	朝食準備
8:30	朝食
9:30	テント片付け
10:00	自然の家 退所

##### <親子サークル>

- ① 活動タイプ 1泊2日型 (キャンプ)
- ② 時期 9月中旬
- ③ 参加者 52人

#### ④ 日程

##### <1日目>

時刻	活動内容
14:00	入所
14:15	広場遊び
16:00	テント設営 (テントサイト)
17:00	夕食準備
18:00	夕食
18:30	夕食の片付け
20:00	施設のシャワーか近隣の温泉で
21:00	入浴 就寝

##### <2日目>

時刻	活動内容
7:00	起床
7:30	朝食準備
8:30	朝食
9:30	テント片付け
10:00	自然の家 退所



自由にテントを設営し…



自由な時間を過ごします

## IV 活動を振り返って

### 1 支援活動の在り方を探る

#### A 夏型の活動から（小・中学校）

##### (1) 夏型活動（4～12月）の現状

＜夏型利用の推移＞令和7年度泊数 単位：校

	計	日帰り	1泊	2泊	3泊以上
令和4	66	6	57	3	0
令和5	67	6	58	3	0
令和6	57	4	51	2	0
令和7	65	7	55	2	0

	計	日帰り	1泊	2泊	3泊以上
小学校	52	3	47	2	0
		5.8%	90.4%	3.8%	0%
中学校	13	4	9	0	0
		30.8%	69.2%	0%	0%

※支援学校の小学部1校を含む

本年度の利用者構成は、小学校が全体の44%と大きな割合を占める一方、中学校は9%にとどまった。しかし、学校数については昨年度から8校増しており、特に中学校の利用校数が増加傾向にある点が今年度の特徴である。宿泊日数については、全体の90%以上が1泊2日を選択している。2泊3日の利用は昨年度と同様に小学校2校であり、日帰り利用は小学校3校、中学校4校であった。また、今年度は小学校における合同利用のケースが増加した。これは将来的な学校統合を見据え、複数の小学校がひとつの団体として活動したものである。本所を利用した理由については、「目的に合う」という回答が最多であった。各学校が宿泊学習の目的や研修内容を重要視していることが伺える。

##### (2) 今年度の利用から

学校団体の主な利用目的は野外活動および集団生活の体験であり、活動を通じた集団意識の向上と個々の成長に重点が置かれている。活動内容は「野外炊飯」が最も多く、次いで「登山」「ニジマスつかみ」「キャンプファイヤー・キャンドルファイヤー」と続いた。野外炊飯ではカレー作りが主流となっており、役割分担や協働といった教育的効果の高さから、今後も需要が見込まれる。「登山」については、刈田・熊野岳方面の利用が昨年度より増加した。一方で、昨今の全国的なクマ出没報道の影響を受け、登山やスコアオリエンテーリング等の実施にあたり、本所の安全対策への問い合わせが寄せられた。今後もクマ対策マニュアルに基づき、エリア点

検やコース整備を継続するとともに、見通しの良い環境づくりを徹底する。あわせて、登山時の動物駆逐用花火により防除やクマ鈴の等の貸し出しなど、ハード・ソフト面での安全対策に万全を期していく。

##### (3) 次年度に向けて

利用者の安心・安全を第一に、支援体制を充実させていく。団体のねらいを共に共有し、そのねらいを達成できるような支援を職員間で共有し、一貫した支援を行っていく。また、活動エリア、登山コース等の環境整備や活動の事前準備等に継続して取り組み、利用者に安心してご利用いただける支援体制・施設管理体制を整備していきたい。

#### B 冬型の活動から（小・中学校）

##### (1) 冬型活動（1～3月）の現状

冬型の学校利用はゼロとなった。スキー活動を中心とした冬型の学校利用の減少については本所の大きな課題である。今後もスキー活動を中心とした学校利用は見込めないため、今後は冬型のプログラムとして、スノーシューや歩くスキー、雪遊び等を中心としたプログラムを推進していく。

##### (2) 今年度の利用から

今年度は、少雪により本所のゲレンデコンディションは活動に適した状態に維持することが困難であった。今後、温暖化による降雪量の減少も考えられるため、雪がない場合の活動プログラムを開発していく必要がある。

##### (3) 次年度に向けて

学校におけるスキー活動は減少傾向である。アルペンスキーだけでなく、歩くスキーやスノーシュー、そり遊びといった多様な活動を広報し、学校団体の利用へつなげていきたい。また、クマ出没により登山活動に不安を抱く団体に対しては、野生動物の活動が落ち着く冬型の利用の安全を訴求し、プログラムの充実を図っていく。

#### C その他（小・中学校以外）

幼稚園や保育園、ジュニア・リーダー研修会やボーイスカウト、子ども会などの団体利用に加え、一般の家族利用も増加傾向にある。家族利用についてはリピーターが多く、主催事業への参加をきっかけに再利用につながるケースが増えている。また、県外からの利用も増加した。ネット検索やSNSを通じた情報収集が主流となっているため、今後もWeb媒体を中心とした広報活動を継続していく。

(担当：相原)

## 2 登山支援ボランティア・アシスタント感想

### (1) 登山支援ボランティア

#### 「満喫！蔵王の冬」

#### 「蔵王に登ろう！山ガール教室」を終えて

蔵王自然の家登山支援ボランティアの会  
小室 美雪

雪に苦しめられた今冬の日本列島。

日本海側の各地に降り続けた雪は、人々の生活に大変な被害をもたらした。それに反して太平洋側の降水量は極端に少なく、夏の水不足はもとより、すでに給水制限が始まっている地域もあると聞く。雪不足は、蔵王自然の家の企画運営でも大変なご苦労があったことと思う。

「満喫！蔵王の冬」では、楽しみにしていたご家族と一緒に野鳥の森を歩いた。本来であれば野鳥の森は、一面の雪に覆われて銀世界と化し、そこにウサギやキツネ、リスやネズミまでが元気に走り回る様子が足跡として見るができる。冬は、森の中の生き物が暮らしている気配を唯一感じることができる季節だ。モフモフの雪を踏みながら、動物の足跡を探すアニマルトラッキングや、植物の冬芽を見ながら走ったり、転んでみたり、何をしても楽しくてならない。その楽しいはずの森に雪がない。雪のある道を探しながら、そして動物たちの足跡を探しながら、ちょっとでも雪の蔵王を楽しんでもらいたくて・・・

私はほぼ毎年、「満喫！蔵王の冬」に講師として参加している。担当した班において、子供たちは列前方に、保護者の皆さんには列後方を歩いていただいている。子供は保護者と一緒の場合、頼ったり甘えたりしてしまいがちであり、低学年ほど顕著である。そのため、今回も私のすぐ後ろには低学年の子供が整列し、高学年のお兄さんには、子供たちの後方でサブリーダーをお願いした。

今回の我が班の保護者は、全員がお父さんであった。子供たちの後ろから見守るように歩いていただいた。雪が少ないなりに、何とかウサギの足跡を見つけたり、“風の落とし物”のツルアジサイの花序を見つけて「花はどれでしょうか？」のクイズを出したりしながら楽しく歩く

ことができた。

「蔵王に登ろう！山ガール教室3」。この日は天気に恵まれた1日だった。雪山初体験の山ガールもいて、ギアの付け方、歩き方、ウェアのレイヤリングなどについても歩きながらお話しした。また参加者の方には、千年杉コースに咲く花や出会える生き物のこと、季節を変えて楽しめることなどもお伝えし、参加した方々は興味を持った様子であった。

私が山歩きを始めた頃は、寝ていても夢に出てくるほど楽しくて仕方なかった。いろんな山に行ってみたい、蔵王の違うコースも歩いてみたい・・・参加した皆さんも登山を楽しみたい思いは一緒と思う。

私が自然の家のボランティアをお引き受けして13年くらいになる。初めは、ボランティアしながら蔵王を歩ける、蔵王のことをもっと覚えることができると初心者山ガールだった。しかし、自分の楽しみだけではない、目的に応じた責任や安全管理など、学ぶことや考えることが多いことを知った。

それらを含めて、これからも利用者の皆さんと一緒に1人の山ガール(おこがましいが)として蔵王を楽しく満喫したいと思っている。



満喫！蔵王の冬より



「蔵王に登ろう！山ガール教室3」より

## (2) アシスタント

### 4年間のZAVOでの活動を振り返って

蔵王自然の家ボランティアの会

宮城学院女子大学 4年 大友 彩弥香

大学1年の4月に蔵王自然の家アシスタント募集のチラシを見て、小学5年の時に野外学習で自然の家を利用した時の楽しい思い出が蘇り、「ここにまた行けて、ボランティアができるなんて楽しそう！」という気持ちで養成講座に参加しました。

私の初めてのアシスタントはチャレンジ in 蔵王でした。この六日間を通して、出会えた仲間、縦走を通してつかんだチームワークなど、様々な経験をすることができました。私の担当した班は、個性豊かな子供たちが多く、班としてのまとまりを見出すことが難しかったグループでした。アシスタントとしての声かけや子供たちの輪への入り方など、支援の仕方ですぐ戸惑うことがありました。その時、ZAVOの先輩方の子どもの関わり方を見て学ぶことができました。名前を呼ぶこと、沢山褒めること、子供の目線で一緒に活動に参加することなど、先輩の姿から多くのことを学ぶことができました。そして、最後のアシスタントとなった今年の満喫蔵王の冬では、活動の振り返りの時間が充実していました。活動の反省や良かったこと、今後の冬の活動についての案出しなど、所員の方と後輩のZAVOと一緒に話せたことが良かったです。

4年間の自然活動の支援で印象に残っているのは、にじますつかみの支援です。池から、自分で魚を手づかみし、さばいて、食べるという活動です。養成講座の時に、所員の方から、生き物が食べ物に変わる瞬間を体験し、命の大切さを子供たちと学ぶことが大切だと教わりました。さらに、さばく時は魚の心臓がピクピクと動いているところを子供たちと一緒に見て、「命があることを感じられるといいね」と教えていただいたこともあり、私は、主催事業で、子供たちと一緒に実践することができました。他にも様々な活動の中で、子供が自分でできた時の達成感や喜びの瞬間と一緒にいられたことが本当に幸せでした。

また、アシスタントの活動をいつも近くで見守ってくれた所員さんとの出会いにもとても感謝しています。子供たちへの接し方や、社会人として心掛けておいた方がいいことなど、人と接する上で大切なことを沢山教えていただきました。帰る時も、バスが見えなくなるまで、入り口でずっと手を振ってくれる所員の皆さんの温かい雰囲気が大好きでした。

これらの経験は、蔵王自然の家に来ないとできな

い事ばかりです。活動支援をすることがメインではあるものの、私自身も蔵王に訪れて四季折々の自然を感じることができてとても楽しい気持ちで参加していました。学校内では、学び得られない自然体験は子供たちの感性に影響を与えたいと思います。私自身、今年の4月から小学校教員として働く時に、子供たちと野外活動がある時には、4年間の経験を思い出しながら、子どもたちが自然に感動できる体験を大切にしていきたいと思います。



満喫！蔵王の冬 「餅つき体験」



チャレンジ in 蔵王 「にじますつかみ」



チャレンジ in 蔵王 支援を終えて

### 3 各種統計から

#### (1) 野外炊飯・食事関係

令和7年度は、食堂定食11,363食、野外炊飯4,120食、弁当1,030食、総計16,513食の食事を提供した(令和8年1月31日現在)。前年度(令和7年1月31日現在)の18,842食の食事提供に対し、約12ポイント減であった。今年度は、宿泊利用者数が前年度と比べて減少したことや、主催事業の中止ため、食事注文数が少なくなったことが食数減少につながったと考えられる。

##### ① 夏型活動での食事状況(4~11月)

- ・ 野外炊飯の実施について

全利用団体のうち、野外炊飯活動実施割合は約70%となり、前年度より約3ポイント減少した。しかし、小学校では実施割合が4ポイント増加した。

メニュー選択の割合は、カレーが前年度より約9ポイント、芋煮が6ポイント、バーベキューが3ポイントと大幅に増加した。一方で、ポリクッキングが3ポイント、ホットサンド1ポイントそれぞれ減少した。

##### ② 冬型活動での食事状況(12~3月)

冬型活動では朝食と夕食は食堂定食のみとなる。昼食については、ほとんどの団体がえぼしスキー場での食事を利用する(主催事業を除く)。

今年度は、14団体のうち3団体は、食堂定食の提供をした(令和8年1月31日現在)。

##### ③ 食物アレルギー等対応について

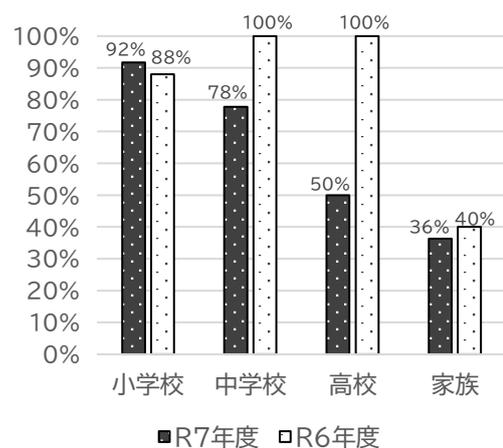
調査票により利用者の状況を確認し、除去代替食等の対応を行った。対応希望者割合は4.6%(令和8年1月31日現在)で、前年度(令和7年1月31日現在)の4.2%からやや増加したが、ほとんど変わらなかった。

申請のあったアレルギーは、木の実・種実・魚介類、次いで卵の順で割合が多かった。

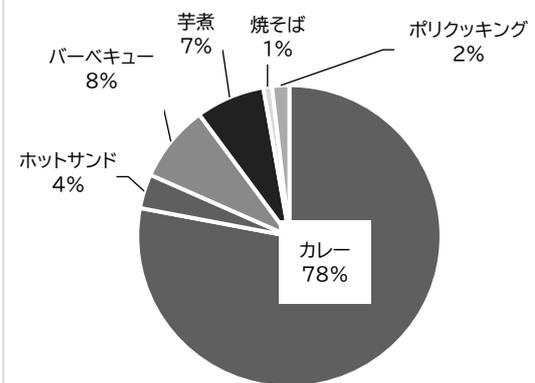
今年度、90団体にアレルギー除去の献立を提供したが、アレルギー等により持込した利用者は2団体であった。また、ハラール食(肉除去)は1団体に対応した。

野外炊飯においては、アレルギーフリーのカレールウに変更したことで、すべての団体が同じカレーを食べることができるようになった。

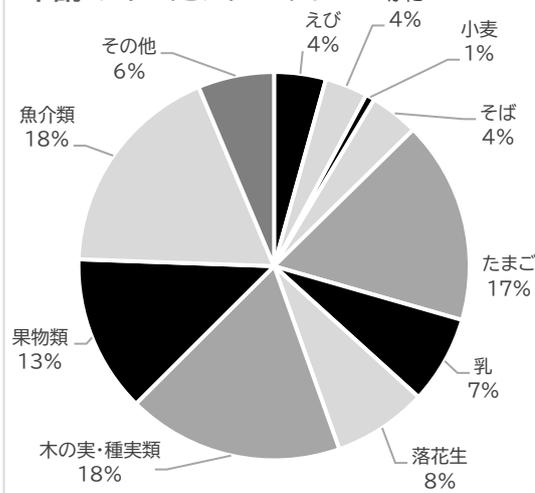
野外炊飯実施割合年度比較



野外炊飯実施メニュー



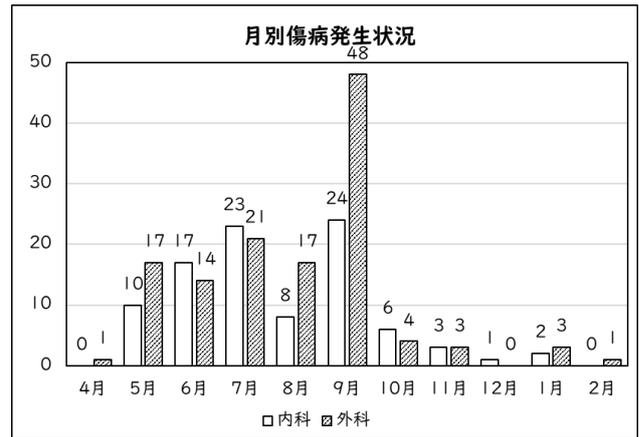
申請のあったアレルギー



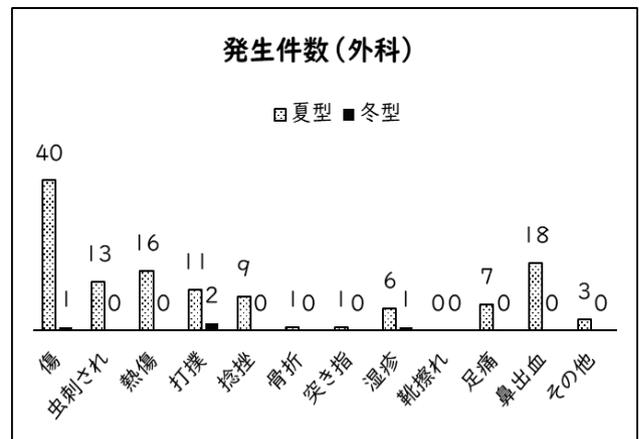
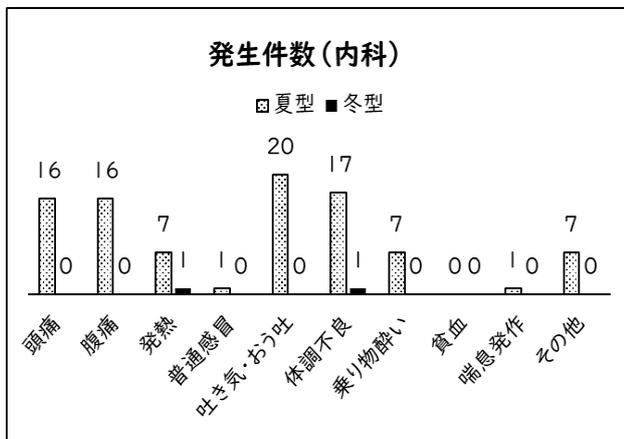
## (2) 病気とけがの様子 (R8年2月1日現在)

### ① 月別の傷病別発生件数

- ・ 内科、外科ともに9月が一番多かった。9月は利用者数が最も多く、医療機関を受診した利用者も多かった。登山・ハイキングで転倒したことによる捻挫や打撲が多かった。
- ・ 次に多いのは、利用者数が三番目に多い7月だった。頭痛、吐き

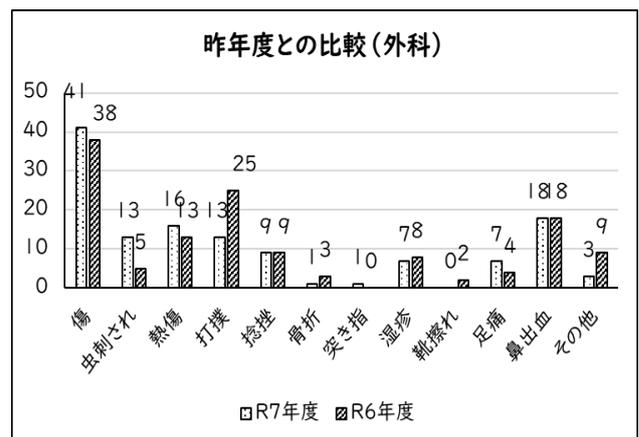
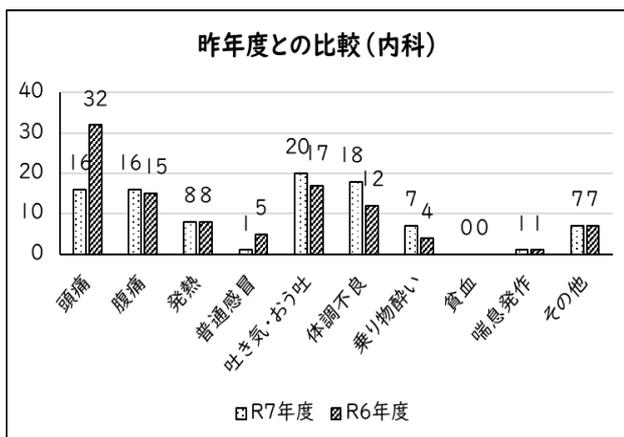


### ② 傷病別の発生件数



・ 発生件数が多かった傷病は、傷(41件)、吐き気・おう吐(20件)、鼻出血(18件)、体調不良(18件)であった。

### ③ 傷病発生件数の昨年度との比較



- ・ 内科では、腹痛、吐き気・嘔吐、体調不良、乗り物酔いの項目が増加している。
- ・ 外科では、傷、虫刺され、熱傷、突き指、足痛の項目が増加している。

### ④ 医療機関受診状況

- ・ 計7件  
骨折(1件)、低体温(1件)、マダニ咬傷(2件)、切り傷(3件)

### (3) 活動の実施状況

#### ① 団体が行っている主な活動内容

- ・ 幼稚園、保育園（ハイキング、沢遊び、ニジマスつかみ、創作活動、そり遊び）
- ・ 小中学校（登山、トレッキング、沢登り、スコアオリエンテーリング、キャンプファイヤー、野外炊飯、ナイトハイク、ニジマスつかみ、創作活動、スキー）
- ・ 高校（スノーシュートレッキング）
- ・ 一般団体（登山、野外炊飯、研修会、スキー、そり遊び）
- ・ 市町村教育委員会（ジュニア・リーダー研修、野外炊飯、スコアオリエンテーリング）
- ・ 子ども会関係（野外炊飯、キャンプファイヤー、沢登り）
- ・ スポーツ少年団（合宿練習、レクリエーション、星空観察、キャンプファイヤー、野外炊飯）
- ・ 家族（ハイキング、広場遊び、スキー、雪遊び、そり遊び）

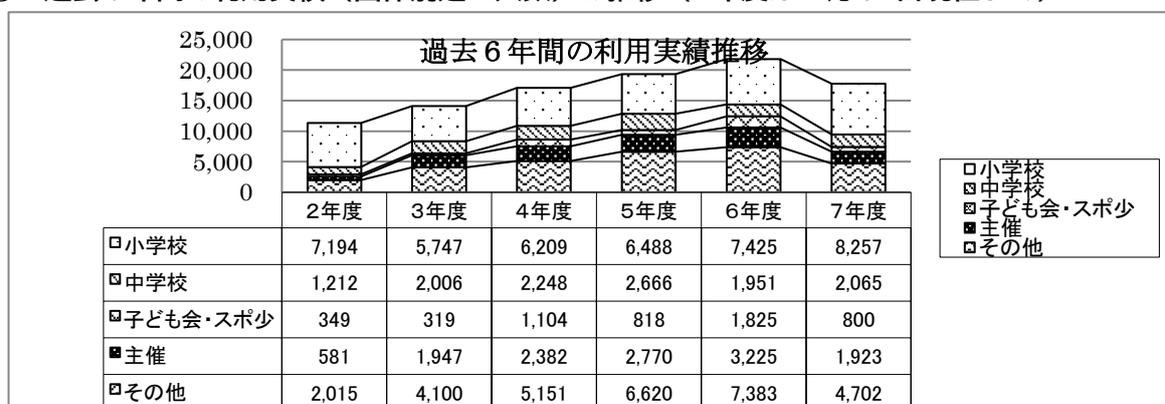
#### ② 令和7年度の主な主催事業

- ・ 4月 スプリングフェスティバル
- ・ 5月 実地踏査会1、アウトドア体験塾、ZAO 施設ボランティア養成講座1、満喫！蔵王の春
- ・ 6月 めぎせ！蔵王マイスター1、実地踏査会2、蔵王に登ろう！山ガール1、実地踏査会2  
親子で遊ぼう in 蔵王
- ・ 7月 めぎせ！蔵王マイスター2、実地踏査会3
- ・ 8月 チャレンジ in 蔵王、野外活動指導者研修会、満喫！蔵王の夏
- ・ 9月 めぎせ！蔵王マイスター3、蔵王に登ろう！山ガール教室2
- ・ 10月 満喫！蔵王の秋、自然の家フェスティバル、蔵王でみんなとお泊まり会
- ・ 12月 リフレッシュ in 蔵王、ジュニア・リーダー上級研修会
- ・ 1月 スキー指導者研修会、ZAO 施設ボランティア養成講座2、満喫！蔵王の冬
- ・ 2月 蔵王に登ろう！山ガール教室3、みやぎ県民大学
- ・ 3月 蔵王自然の家ボランティアの会（ZAVO）総会

#### ③ 令和7年度の利用実績（利用層別延べ人数 1月31日現在）

未就学児	小学生	中学生	高校生	一般(大学生)	引率者	計
755	8,993	2,399	280	4,282	1,236	17,945

#### ④ 過去6年間の利用実績（団体別延べ人数）の推移（7年度は1月31日現在まで）



- ※1 令和2年度は、新型コロナウイルスの感染拡大により、4～5月は受け入れ業務を停止した。6月より屋外かつ日帰りの受入のみ再開、7月より宿泊利用団体受入を開始。
- ※2 令和2年7月以降は、所の新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドラインを作成、宿泊可能人数、食堂の人数等の密を避ける対策を行った。
- ※3 令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、5、9、1、2月の宿泊利用のキャンセルや延期が発生した。家族等の少人数利用や日帰り利用が増えた。
- ※4 令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響は見られたが、延べ人数が令和元年度の実績に達した校種、団体が見られた。学校の統廃合が進み、予約数の減少が顕著になっている。
- ※5 令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことに伴い顕著な利用者数の増加が見られたが、暖冬の影響による雪不足により年度末の利用者数が伸びなかった。
- ※6 令和6年度は、5年ぶりに2万人以上の利用者となった。本所を利用する学校に対して、本所の利用についての出前による事前指導を行ったことや冬の日帰り利用についてのチラシの配布などにより増加したと考えられる。
- ※7 令和7年度は、敷地内キャンプ場内の樹木が倒木の危険性があり、施設設備に制限を行ったこと、また施設内のポンプ故障により主催事業の中止、宮城県に熊出没注意報が発令されたことにより、研修会の中止があり、利用者が減少した。

#### (4) 利用統計から

月	令和 2年度		令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度		令和 7年度		前年度 比較数
	団体 数	延べ 人数											
4月	0	0	24	843	38	413	64	381	37	1,072	36	1,101	29
5月	0	0	56	723	57	1,716	101	2,534	70	1,828	86	2,177	349
6月	30	108	61	1,790	40	2,615	78	3,073	124	4,100	101	3,138	-962
7月	25	371	79	2,640	44	3,058	85	3,625	108	3,185	116	2,953	-232
8月	55	1,428	39	879	47	1,691	68	1,933	60	2,139	84	1,651	-488
9月	57	3,557	29	1,404	60	2,331	71	2,488	70	3,282	76	3,390	108
10月	22	4,196	50	3,507	32	1,589	37	2,542	58	2,704	50	1,262	-1,442
11月	20	484	24	897	42	385	25	283	42	974	29	714	-260
12月	6	63	17	302	30	695	28	398	31	395	36	646	251
1月	42	398	41	569	55	924	28	850	111	929	51	913	-16
2月	36	639	69	509	75	1,581	45	900	104	1,131	55	1020	-111
3月	6	107	15	56	16	96	23	353	28	343	7	92	-251
合計	299	11,351	504	14,119	536	17,094	653	19,360	843	22,082	727	19,057	-3,025

#### 〔各月ごとの概要〕

- 4月 主催事業への参加者が昨年度よりも若干多かったことが増加の理由としてあげられる。
- 5月 前年度に比べ利用団体数も増加した。理由は訪問型事前指導を行ったこと等が考えられる。
- 6月 減少理由はキャンプ場内の樹木が倒木の危険性があり、施設設備に制限を行ったことが要因と考える。
- 7月 利用団体数は昨年度と比較すると微増となった。分析すると少人数での団体利用が多かったためである。
- 8月 利用者延べ人数は、前年度に比べて580人ほど減少した。減少の要因は、団体内の人数が大幅に減少したこと等が考えられる。
- 9月 訪問型事前指導を複数校で行ったこと、また小学校の大規模校での利用団体があり増加となった。
- 10月 設内のポンプ故障により主催事業が中止になったことで利用者が大幅に減少した。
- 11月 宮城県に熊出没注意報が発令されたことにより、本所主催の登山支援ボランティア研修会の中止等も利用者減少の要因となった。
- 12月 出前授業の需要があったこと、またスポーツ団体での大人数利用団体があったことが増加の要因と捉えている。
- 1月 50名以上の団体宿泊利用があり、延べ人数は昨年度並であった。そり遊びや歩くスキーの家族利用が増加した。
- 2月 団体数、延べ人数ともに、昨年度より減少した。2月に入り雪不足により、そり遊びや歩くスキーの利用者が減少したことが要因ととらえている。
- 3月

## おわりに

開所 55 年目を迎えた令和 7 年度、蔵王自然の家は平林健所長を含め 5 名の新たな所員を迎えスタートいたしました。時が経つのは早いもので、いよいよ今年度の締めくくりの時期となりました。

昨年は積雪に恵まれましたが、今冬は雪が少なく、2 月半ばには積雪が 0cm となりました。春のような暖かい日差しが降り注ぐ広場では、子供たちが元気に走り回る姿が見られ、2 月とは思えない光景に驚きつつも、その時々々の自然の営みを受け入れ、のびのびと過ごせることが「自然の家」の魅力であると改めて実感しております。

今年度は、約 19,000 人の方々にご利用いただきました。蔵王の雄大な自然の中で、日常を離れた体験や人との交流を通し、社会教育施設としての役割を果たせましたことは、ご利用いただきました皆様のご理解とご協力の賜物であり、深く感謝申し上げます。

今年度の新たな取り組みとしては、デジタル技術の導入を推進いたしました。電子掲示板（デジタルサイネージ）の設置や、二次元コードによるアンケート、利用事前研修会における資料のクラウド共有化など、利用者の皆様の利便性向上に努めてまいりました。こうした時代の変化に合わせた挑戦を続ける一方、蔵王自然の家が築いてきた伝統もしっかりと守り続けていきたいと考えております。自然に触れ、人と関わり合う「直接体験」ができる環境、そして教員である専門的な知識やスキルを持つ社会教育主事による手厚い支援は、本所の核となる強みです。今後も利用者の安全・安心を第一に支援体制を充実させ、自然との触れ合いを通じて、心豊かでたくましく生きる人材の育成に力を注いでまいります。

さて、実践記録集「えぼし」は、今号をもちまして第 50 集を迎えました。本誌には、この 1 年間の活動を振り返り、各事業の目的や参加者の声、今後の展望などを掲載しております。ぜひ、繰り返しご覧いただければ幸いです。

最後になりますが、今年度の事業を無事に遂行できましたのは、ひとえにご利用いただいた皆様、そして活動を支えてくださった登山支援ボランティア、スキー講師、アシスタントの皆様の多大なるご協力のおかげです。心より厚くお礼申し上げます。

今後も地域に根ざし、皆様に信頼され愛される施設であり続けるよう、職員一同、より一層努力を続けてまいります。

(担当：相原)

### 令和 7 年度職員

所 長 平 林 健

次長（班長） 相 原 みき

#### 【総務担当】

次 長〈副班長〉	金野 忠司
主 事	今野 秀隆
技 師（栄養）	村上 るみ
主任技師	菅野 裕人
代替技師	佐藤 松光
業務補助	高橋 稔

#### 【研修支援担当】

次長〈副班長〉（社会教育主事）	森 智弘
次長〈副班長〉（社会教育主事）	高橋 亮
主 幹（社会教育主事）	大瀧 学
主 幹（社会教育主事）	村上 智幸
主 事（社会教育主事）	永田 翔哉
技 師（看護）	齋 千恵子

# 蔵王少年自然の家の歌

安部辰夫 作詞  
曾我道雄 作曲

♩ = 108~112はつらつと

1. たに がわのお と はやしにひび き たき  
の しぶきー に にじたつと ころ あおぐやまな  
み われらをまねく とも にまなほ う よ  
り ーふか く しぜんのちえの ひかりもとめて

## 蔵王少年自然の家の歌

作詞 安倍辰夫  
作曲 曾我道雄

### 一 谷川の音 林にひびき

滝のしぶきに 虹たつところ  
仰ぐ山脈 われらを招く  
ともに学ぼう より深く  
自然の知恵の光求めて

### 二 緑の丘の かなたに遠く

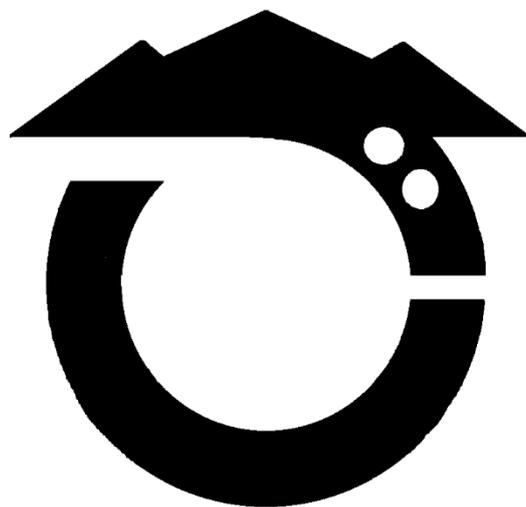
海の潮の かがやくところ  
力あふれる われらのつどい  
ともにすすもう手を組んで  
奉仕と愛の心ひとつに

### 三 かつこうの声 森にこだまし

蔵王の峰に 雲わくところ  
夢はふくらむ われらの胸に  
ともにうたおう声高く  
希望にみちた理想の歌を



# 宮城県蔵王自然の家



## 蔵王自然の家 所章

全体の形は蔵王の「ざ」の一文字を形どったものです。  
蔵王連峰と御釜、そこから流れる澄川を白抜きし、  
バックの青は紺碧の空を表しています。

〒989-0916

宮城県刈田郡蔵王町遠刈田温泉字上ノ原155-1

TEL : 0224-34-2101

FAX : 0224-34-2102

E-mail : [zoseinn@pref.miyagi.lg.jp](mailto:zoseinn@pref.miyagi.lg.jp)  
HP : <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/zao-syounen/>  
Fb : <https://www.facebook.com/zao.sizen>  
lg : [https://www.instagram.com/zao\\_nature\\_retreat/](https://www.instagram.com/zao_nature_retreat/)